

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-139)、  
廃棄物管理施設(114)、MOX燃料加工施設(2-93))」
2. 日時：令和6年1月18日(木) 13時30分～18時00分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部  
核燃料施設審査部門  
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)  
古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、  
上出安全審査官、山口係員  
日本原燃株式会社  
燃料製造事業部 燃料製造建設所 許認可業務課長 兼 再処理事業部 副部長  
他1名
5. 要旨  
(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和6年1月12日提出資料に基づき、申請対象設備に係る具体的な設備等の評価(MOX燃料加工施設)について確認を行った。  
  
(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。
  - ・説明すべき事項が網羅的に示せるように、説明に用いる設備の代表性の説明を追加するとともに、一つの設備では説明しきれない場合には説明対象を追加するなど説明を拡充するとともに、補足説明資料も説明項目との対応関係を踏まえて整理する。
  - ・評価条件として用いる各種パラメータの根拠(設備構造、公差・公称値等)とそれらの取扱いを示すことにより、評価の過程が体系的に説明できるように整理を進める。
6. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。  
※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行って

おります。

7. その他  
提出資料  
なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年

2月28日)

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)

・ 令和6年1月12日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	録音開始しました。
0:00:02	はい、ありがとうございますと規制庁ヤマグチです。それではただいまから日本原燃のヒアリングを開始します。横軸はヒアリングは令和4年12月26日に申請があった再処理施設と廃棄物管理施設、
0:00:17	また令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設の設工認申請について資料をもとにヒアリングで事実確認を行うものになります。
0:00:27	ヤマザキ成長がの出席者を紹介しますのでと本庁側の出席者の紹介をお願いします。
0:00:33	はい。本庁のフジワラです。本庁側の出席者はキシノハバサキアライフジワラです。
0:00:41	その他規制庁は出席者ウェブからの参加で、コサクカミデオオキがオノ。
0:00:50	ヤマグチ以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介と本日の議題の構成を説明し資料の説明を開始してください。
0:01:01	はい。日本例年事務局の中浜です。
0:01:04	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:08	Steeringチームより、イシハラ、及び各パートのですね、資料作成者部隊、そろえてございます。
0:01:18	あとMOX及び再処理の事務局、参加させていただいてございます。
0:01:23	参加者以上となります。
0:01:26	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、告訴説明グループ1、A-オカに関する内容といたしまして、共通中に本体、
0:01:36	及び関連する個別補足説明資料、三種類、土地ゴミゼロ2、
0:01:42	運送01、短期01の確認をお願いしたいと思っております。
0:01:48	それでは説明の回収の方よろしく願いいたします。
0:02:04	東京支社聞こえてますか。
0:02:07	これが整理したルートになって、
0:02:11	1月10日に提出先を通常2でございますが、あとで本文資料2、あと資料4、あと個別補足、戸部衛藤ゴコウは資料4のところで、
0:02:24	リンクを貼ってますので、その時に順次説明をさせていただければと思います。
0:02:29	それでは本文から、玄海からの修正時点の説明をさせていただきたいと思えます。
0:02:36	本部、資料4関係、フナツて恐縮でございますまだ最初のパートが出てないのもあってかなりモップ数野瀬資料4の説明に近い。

0:02:50	偏った形になってますので本来であれば全体に渡しての説明にしないといけないところまだそこまで十分できてないところは見直しがまだ必要だと、いう認識でございます。
0:03:01	29 ページから、4 ポツでございます。29 ページの真ん中より下、下段に下線が引いてある部分、ここ資料 2 資料 3 と資料 4 の関係、あとは資料 4 を作成する。
0:03:16	家庭での示し、項目等に追加がある場合は資料にフィードバックをかけるんだと。
0:03:23	予算も含めてですね関係するものにはフィードバックをかけるんだと、いうことを整理をするということで終了したというのがこの文章でございます。
0:03:34	はい。
0:03:35	また 31 ページここが完全にMOX説明グループの
0:03:41	話に偏っているところなので全体にわたってどうするか考えなきゃいけないですが、
0:03:47	いう(4)のところ前回臨界に関する許容限界の話を、
0:03:53	段階的にやりますよって書いてある例示がですね何を意図してると何もわからんと。
0:03:58	相神がありました。やりたかったのは臨界に係る変位変形。前回の進め方冷やで出した構造の説明グループと評価の説明グループの関係で、
0:04:10	委員会側に入っていた臨界から変形の話ですね。この話はそれを受けた説明として、耐震側に振るんだと。
0:04:22	ということで整理をしたいということの所、日吉でございます。
0:04:27	はい。
0:04:29	次が 32 ページから、これも全体の表がいるなど最初にノダツガネ河津イケダイデでも 32 ページから 33 ページにわたって書いてあるんですけども、今回
0:04:40	説明グループの 3 の評価のところですね、ボリューム側ということもあって、A-1 から-3 までグループ分けてたんですが、僕だけ見ても全体あまりボリューム感もないので、
0:04:54	今回-を外しているという体験でございます。
0:05:00	はい。あと 34 ページですね。
0:05:05	神戸東北の内容についても、資料 4 の説明の際に、
0:05:10	やはり必要な紐づけをやりながらやっていくんですが、根拠等で追加が必要だということであれば、資料 2 参考の内容についてもフィードバックを払って、
0:05:21	補足としての連帯図を示していくと、いうことでございます。

0:05:26	本文の修正点以上でございます。
0:05:37	ヒトミ規制庁ヤマグチですと、本文まで出ているということで、ここまでで規制庁側から確認ございましたらお願いします。
0:05:46	規制庁の荒井です。
0:05:49	30 ページ目お願いいたします。
0:05:55	前回の、
0:05:57	やりとりの中で、上から 10 行目のポツのなお書きのところなんですけども、
0:06:05	特に評価を介さず設定される性能仕様っていうところで、許可、すでに許可で示してるっていうところで、評価のフラグを立てませんっていうところを、
0:06:17	整理することになりましたけども、
0:06:20	結局、
0:06:21	フラグの立て立てるタテない、立てる必要のない理由等については共通 12 の
0:06:28	どこでどのように示されているのかっていうところをちょっと教えてください。
0:06:35	はい。4 イシダでございます。はい。例示としましては、
0:06:40	資料 2 のですね、
0:06:45	もし、
0:06:50	妙に日定義でいきますと、166 ページ。
0:07:00	4、
0:07:01	66 でね、あれ、飯野か。
0:07:03	うん。
0:07:04	166 ページの一番下の段にフィルターの構造設計、書いてあって、
0:07:12	具体的な対象と何を書いてるかをもうちょっとちゃんと書いた方がいい気もしながらも、
0:07:19	フィルターの捕集効率の関係については、点許可の元禄。
0:07:25	これ放射線管理関係のところですけど、これの講習、被ばくの評価で用いるフィルターの法律と、
0:07:32	というのが、どの程度の効率を設定するかということについては説明をしていますので、実際その構造設計ができれば、効率が達成できているものを買ってくると。
0:07:45	いうこと、構造設計側で整理ができるということで、許可等の関係をここで推計をしているということでございます。
0:07:54	はい、ありがとうございます。

0:07:56	一方で、フィルターについては今説明があった通りなのかなとは思いますが、
0:08:04	今回、後で説明のある開口部風速とかあるじゃないですか、例えば 92 ページ目とか、
0:08:13	ですかね。
0:08:14	そこについても、
0:08:17	166 ページの※書きのような形で、何か補足するっていうアイデアはありますか。
0:08:25	はい、日本ヨシダでございます。はい。それもそうですおっしゃっていただいているですねギブンで与えている数字、まさしく 0.25 モリ%今回、
0:08:36	あれかですかねとはいえ、許可で約束してるんだよね。
0:08:41	2.25%おりのあとは、
0:08:47	5 と 1 個分の話もそうですし、あとオープンポートボックスとかの開口部、これもおっしゃっていただいている許可との関係。
0:08:58	ということで、明示することによってより、その関係性が明確になると思いますので、そこも整理をさせていただければと思います。はい。お願いします。0.5 とか 0.25 とかっていうのは許可で書いてある数字だと思う。
0:09:12	フィルターと同じように思っておりますので、
0:09:14	それを変えた方がもう評価としてフラグを立てるタテないっていう理由っていうのがわかりやすくなるのかなと思います。ぜひよろしく願いいたします。
0:09:25	はい、二本木西田様でございます。承知いたしました。
0:09:34	あ、サイトウ勝はい、じゃ、
0:09:37	いいですか。はい、どうぞ。
0:09:40	本文的なところで 29 ページ目の、先ほど追加いただいた資料 2 等にフィードバックを行うところの剤は、これはこれでいいんですが、
0:09:51	資料 3 へのフィードバックっていうのも当然ある。
0:09:54	を持っていて資料に軽油っていうのもあるし、資料 4 を作成している中で資料 3 で不足していたということも、
0:10:01	フィードバックすると思うんですが、
0:10:03	実際に今後青梅は資料 2 と資料 2 の記載でまずは、
0:10:09	フィックスしていくとは思うものの、資料 3 というのはどういうふうに、
0:10:13	フィードバックのかけられ方とか、見せ方を確認していこうと考えられますか。はい、西田でございます。昔から、頭の中に 1 個しかなければキアガリという、

0:10:26	一般常識を下藪っていうので河川の一番最後に、資料 2 等は資料 2 と 3 なんですけど、射程構造設計をやってそのあと解析評価をやると、D 評価の中で前提になるような設計、
0:10:41	構造で設計だったりがやはり足りないとなれば、資料 3 がにフィードバックをかけて追加をし、その構造設計の妥当性を説明して、また資料に戻ってくるというやりとりをしないとイケないと思っています。
0:10:56	はい。規制庁管です。そ、それで、今は資料 2 をセットで出していると思うんですが、今回もそうだったんですが当面、資料 2 と資料 4 を、
0:11:07	評価関係、関係の資料ということで、
0:11:10	提出スケジュールも含まれてるんですが、
0:11:12	資料 3 へのフィードバック状況っていうのは途中で確認しなくても、
0:11:17	結構後になってるんですが、そこまでは、もう、
0:11:21	いいかなと思ってらっしゃる。その辺の、日本原燃瀬谷でございます
0:11:30	すいません私の考えが甘いのかもしれあまりないだろうという前提に資料 2 を組み合わせずっとスケジュールも書いてますが、当然必要にの
0:11:40	状況とか修正が入れば、予算も併せて提示をさせていただいて全体どう見直したのかという説明が必要だと思っていますので、ちょっとスケジュールの示し方も、全体に当たって、
0:11:54	必要な項目としてピックアップした上で、今回は対象がなかったなかったということの関係性で説明を進めていくということで整理をさせていただければと思います。
0:12:05	はい。町長そうです。わかりました。資料 2、AD資料 3 というのも、先ほども申し上げましたがあるとあって資料 2 の方でFIXってもう、それを資料 3 の方でどういうふうに表示するのかというのも、
0:12:18	あると思いますんで速やかにそういうのは出していただく必要はないのかもしれませんが、ある一定期間でその評価として完結するべし、グループ 1 として完結するところを、
0:12:29	姿を確認しなきゃいけないと思っていますので、よろしくお願いします。
0:12:35	はい。弓削ニシダでございます。はい。全体コントロールして、抜けがないように、推進させて、
0:12:43	はい、月岡です。あともう 1 点、評価項目一覧表に今回MOXだけで記載MOXに偏っていると、先ほど説明がありましたが、
0:12:54	MOXと再処理管理で、意識で評価していくような状況っていう。
0:13:00	のも聞いているんですが、そういうものの、
0:13:04	本文での表現とかあと評価項目一覧表における
0:13:09	臨空とか何かそういう考えっていうのはもう整理されてるんでしょうか。



0:13:16	はい。日本原燃石田でございますこれも、もともとが 10 日出す時、セットにしてと言ったのが、再処理がずっと増えてしまって現状まだピークはかけてませんが、
0:13:30	24 点。
0:13:34	前回進め方でもお話をした次に出すタイミングには少なくとも全体のリンクって紐付けですかね。
0:13:42	をしないといけないという認識聞いております。はい。
0:13:47	はい、規制庁ヤスタマイ 24 ですかね今提出。はい。はい。そこで、そういう中で考慮されて、本文事項等も整理されると。
0:13:57	いうふうに認識しましたんで、
0:14:01	私から以上です。
0:14:10	規制庁新居です。ほか、34 ページ目までですかね本文で、
0:14:18	規制庁カミテですけど、ホンダっていうあれでもないんですけど、代表性の考え方ただったりっていうのは、どういうタイミングで話危険でしたっけ。
0:14:34	はい。乳井の伊勢でございます。今言われているのは最初にもう廃棄物も含めた代表をどう考えてるかの話で、
0:14:42	木曾とりあえず MOX に限定したんです。はい。
0:14:48	はい。すいません。特に今回資料 4 の耐震のところでは代表の話を、
0:14:57	説明をしないといけない部分があると思ってて資料 4 が今 212 ページ以降ありますけど、耐震部分のところでは代表に関する考え方、
0:15:08	もう、あと、前回からずっと宿題になってる個別補足今後どういうふうに出していくのかということも含めて、イトウの方から説明をさせようと思ってました。
0:15:19	規制庁加茂です。そうすると、
0:15:22	資料 4、何を代表にするか資料 4 を見てください。資料 3 で、代表してるものをすでに包含してるもの関係は資料 3 を見てくださってという形で整理をしていくってことですか。
0:15:38	はい。宮城西尾でございます。はい
0:15:42	一つは、前回、前回じゃない
0:15:46	12 月 21 日の進め方最初に廃棄物の方の構造設計を踏まえた代表の考え方が大分ご指摘いただいて、修正しますと言って修正版を出す時にはガイドに反映してお出しをしますという話をしていますただそれも、
0:16:03	ガイドだけっていうわけにいかなくてし、本部でどういうふう代表を考えるかと、いうことをちゃんと見据えた本文とガイドの組み合わせと、

0:16:15	思ってますので、岡見さんおっしゃられてる部分まさしくおっしゃる通りだと思うのは本文側の修正も必要だと、毎回ある 29 ページで類似性って書いてますけどどちらかというと評価項目の網羅性と、
0:16:29	いうことをターゲットに考えなきゃいけないってということも含めて、分かつそれをどういう単位で網羅性底に括って見ていくのかと。
0:16:39	いうことの方考え方も、本文上示さないといけないと思ってます。現状はまだ、資料 4 を見てくださいという状況になってるのが現状でございます。
0:16:49	規制庁上出です。認識としては、石原さんの言われている通りだと思うんですけど本文にきて、
0:16:58	書いてもらえともうすぐに思っておらず、MOXの話限定し、さらに資料 4 と限定した場合、
0:17:09	今日話を聞ける資料 4 で出ている、グローボックスだったり、低ピッチだったり、耐震のいろいろありますけど、これがどういうものの代表なのか、これの内数にどんなものが入ってるかっていうのも、もうすでに中身としても説明できるぐらい整理ができていっていると思っていんですけど。
0:17:30	はい、日本インダでございます。はい。まだ書き換えてることで、足りない部分を十分認識をしながらも、どういう退出物が、その中に入っていて、
0:17:44	あとどういう評価をしなきゃいけないから、その後、一番、も網羅しているものを代表にしますと、特殊なJA特集とかその網羅性の中から抜け落ちるものとして説明しなきゃいけないものは、
0:17:57	こういうものですっていう説明ができるような整理をしているつもりですので、資料 4 のパートのところで説明をさせていただければと思います。
0:18:07	はい、規制庁カミデわかりましたじゃまた後程確認します。私の方から、とりあえず現時点では以上です。
0:18:17	はい。他本文関係 34 ページ目までで、
0:18:26	はい、じゃあ、では続いて資料。
0:18:30	2 ですかね、今回添付してあるのは、はい。はい、西原でございます。40 ページからは出資比率表になります。
0:18:41	それぞれの条文ごとで修正のポイントを説明をさせていただきます。43 ページからが耐震関係になります。
0:18:52	体制については前回私、ご説明してる際にですね、47 ページとかの項目のところの順番です番号付け、
0:19:05	これが法律アノなんでしょう拘束性がないというか、どういうふうにしてたのかわかりづらいついていうところがあったとそれを全面的に見直したというところが、耐震として見直したのとあとは、

0:19:19	津久井でいうと、
0:19:28	63 ページとかで個別補足を、これがちょっと出てないんでこれは後でちゃんと行ってオカ説明させますけど、個別足が足りなかったところを追加をしていると。
0:19:40	いうところのございなガタ。はい。
0:19:43	下手したら、
0:19:44	いや全体としてはこういう人がその二つかなと思います。はい。
0:19:53	を軸目は、
0:19:57	閉じ込めが 99 ページからになります。直した先ほど
0:20:05	一応な、95 ページですかね。これ資料 4 との関係で補足も含めた全体のみフィードバックをかけたと。
0:20:13	先ほどの話じゃないですが資料 4 からのフィードバックとして記載を修正しているのが、
0:20:18	94 ページの一番下の欄、評価の項目であったり
0:20:24	評価の、
0:20:26	宇部グループの考え方のところですねこれも説明グループさ、Dの展開をしますよという今までの説明の考え方を踏襲して整理をしたと、いうことが一番右側、
0:20:38	個別補足リリリリンー計上を図ったということでございます。あと目黒さんが追加追加になってますのでこれの整理をしたということでございます。
0:20:51	97 ページとかも同じでございます。
0:20:54	案いうは修正がなくて、
0:21:01	福井難波。
0:21:03	ちょっと 14。
0:21:06	勧誘はですね修正がなくて、106 ページで非常に見づらいうリスク設計グループの考え方のところに番号を付して、上記と言ってるのが何を指してるかっていうのが、
0:21:18	迷わないようにさせていただいたという修正ぐらいでございます。
0:21:25	見せた。
0:21:34	で、
0:21:35	17 条の貯蔵が 150 ページからですが、これも資料 4 との関係でどういう考え方でグループさんに設定するのか。
0:21:47	いうことの整理を、資料 4 で言ってることを、展開をして整理をさせていただいたと、いうことでございます。
0:21:56	17 条はそこですねはい。20 条、20 量は、
0:22:03	何ページか、158 ページからでございます。

0:22:13	ちょっと金、先走って追加をしてもくろみが崩れた結果、非常に池内の程度が 166 ページ。
0:22:23	下階との関係を
0:22:27	追加をしていますが、すみません当初のもくろみ、もくろみっていうか途中でちゃんと軌道修正しなかった私が悪いんですが、
0:22:35	説明グループにはずれた時にですね、この記載をして、ずれ、リーケージが取れないので、止めないといけないかなというところをちょっと手当ができてなかった結果、
0:22:46	11 条 29 条の番号との方が書いてあります。
0:22:51	このままだと 11 条 29 条のシートがないので、何を説明してるのかがようわからなくなってしまうので、少なくとも、この紙、グループ 2 が出るまでの間はですね、
0:23:04	この 2011 条 29 条と関連するものが一体どういうものかというのをわかるように、絵の整理をさせて記載を拡充を、
0:23:14	この番号の後にですねさせていただこうと思います。
0:23:17	はい。
0:23:20	あと 166 ページ先ほどあった許可との関係の記載を追加をしたということでございます。
0:23:36	20 両全体同様な修正が 168170 と続いておりますので、
0:23:45	次は 23 条は 181 ページこちらの 182 ページに同じように、
0:23:52	火災との関係の整理をさせていただきます。こちらも
0:24:01	どういう関係でこう、こういうリンクが張られるのかというのは括弧書きでも、リーケージがわかるような説明だけを追加をさせていただこうと思います。
0:24:11	はい。
0:24:13	あとは 186 ページは個別補足とのリンクを取ったということでございます。
0:24:20	関係の 1、今回追加をしましたんでその関係で記載が追加になっているということでございます。
0:24:29	はい。あと資料にかければ、小部総則の参考をですね 206 ページからあるやつ。これ耐震関係は、ちょっと番号が書いてありながらも、今の時点で全然できてないというのは、
0:24:46	後で資料 4 との関係も含めて、説明をするようにしますが、
0:24:52	108、207 ページ、耐震基準 07 を拡充したり記載を追加したところは青字で記載をしております。
0:25:04	あとさっき言った閉じ込め 03 が、210 ページ。

0:25:09	211 ページの一番下に関係 01 というのを新たに追加をさせていただいたということでございますこれ資料の説明の中でやはり根拠になるところを、
0:25:22	補足として説明する必要があるということで追加をしたということでございます。
0:25:27	はい。
0:25:28	資料 2 関係説明以上になります。
0:25:33	はい。規制庁の新井です。
0:25:35	では 211 ページ目まで説明があったというところで、そこまでで、確認したいと思います。
0:25:44	ちょっと気になったのが石原さんのさっきの説明で 166 ページで火災の云々って言ってましたけど、どこが、
0:25:53	その該当箇所なんでしたっけちょっと聞き逃してしまってますね。
0:26:01	はい。異議の平でございます。166 次ですね、19 番。
0:26:07	の欄の換気設備のシステム設計 19-1 と書いてあるところ、この 2 を見ていただく通せ説明グループの考え方の中に、
0:26:18	代表以外ということで、換気設備(11)以上 29 条の 97 と。
0:26:25	いうこと。
0:26:27	これ
0:26:30	換気風量を設定する中で、必要なイシイとして、
0:26:37	運転員が駐在するような、中央監視室等関係する換気設備っていうのは建築基準法に基づく容量を有する系統。
0:26:46	いわゆる風量設定をしないとイケないと、ということなんですけど、これも結局は、
0:26:54	全体の 20 条でやろうとする全体の風量設定の説明の中で法案して説明できるということで、代表以外にした上で、20 条側で説明をしますよと。
0:27:04	いうことで整理をしていると、いうことでございます。
0:27:08	はい、わかりました。ただ示してる内容がわからないので、変えるとは言ってたんですけどそこはどういうふうに手当て話でしたっけ。換気設備、(11)条 29 条-97 って書いてある後にですね。
0:27:25	少なくともここで説明してる項目を書いてい。
0:27:29	寄与キーワードというかもちょっと具体的にかもしれませんが書いてあげないとわからないかなということでこの後に記載を出そうと思ってます。
0:27:37	わかりました。そのあと 2、補足を書くっていう理解で理解しました。はい。

0:27:51	他資料 2 関係は基本的に資料 4 とかを取りまとめる中でフィードバックがあってそれを、
0:28:00	徐々に手当していくっていうやり方なってますけども、
0:28:03	規制庁で確認したい。
0:28:06	点等あればお願いいたします。
0:28:10	規制庁岡です。私もちょっと今のところ 166 ページ目の火災関係で、短期、
0:28:16	設備の中で拡大条文の方で触れるものをここで図、
0:28:22	説明していくという説明を受けたんですが、
0:28:25	結局、説明グループが違う。
0:28:28	ところの説明をここで、
0:28:31	示して、そちらの説明が最上部の方の説明では、
0:28:38	これ自体を説明する時はどういうふうに、
0:28:42	説明されるんですか。
0:29:01	少々お待ちください。
0:29:44	日本インダでございますちょっと整理しますおっしゃっていただいている中身を聞いてないものが、包含されるとか代表以外に、代表に預けられますという説明をされてもですね。
0:29:57	結局、
0:29:59	でもあれか。
0:30:01	そうだな。
0:30:03	本当かって話になってるんで、
0:30:07	これを説明した上で、21 条 29 条の方で雨量を出してみても、それが、それよりちっちゃいと包含できてますって説明をした方が早い気がします。
0:30:18	はい。ちょっと整理します。はい。崩壊熱状況とかと同じまして、今のような感触を持って、
0:30:28	先手後、ついでに 110 ページ目、途中で閉じ込め 03 の話があって必要だから今回追加しましたという、
0:30:38	ふうに、
0:30:39	説明のあった閉じ込め 03 なんですが、
0:30:42	これ、説明グループが説明、藤さんに、
0:30:47	なっているんですが、今回その漏えい。
0:30:51	液受け皿の方は説明されるので、
0:30:55	説明タイミングと少しこっちの補足説明資料の説明。
0:31:01	タイミングっていうのが、
0:31:02	どういう考え、こう設定されてるのかなというのをちょっとうかがわせていただけますか。

0:31:16	はい。与儀ニシダでございます。はい。増益イケダを、資料4のひな形にして、
0:31:25	最初に説明しながらも、漏えい液受け皿と炉施設がイノウエセキですかね、これが評価の内容だっカリヤマやり方が一緒だからグループ3でと。
0:31:36	言っていながらもある程度説明してる中で、その評価の内容、
0:31:43	裏付ける補足が出てないってのはちょっと説明としては片手落ちな気もするので、ちょっと説明グループ1の中このナカマで、
0:31:54	漏えい液受け皿の説明をするのであれば、それに必要な補足もですね、セットで出させていただくというのが、本来あるべき姿かなと。
0:32:05	いうふうにも思いますので、整理をします。はい。
0:32:09	はい。規制庁岡部です。今回の欠損部ですかね、の説明が必要だなと思っていたところ、こういうのを準備されるということでしたが今回は説明がないような、
0:32:20	雰囲気を持ったので、そこはグループ1で出すべきかなと思いました。
0:32:26	あと関連して211ページ目のIT01の、これもグループスタイルになっていて、
0:32:33	こちらの6種類の風量決定員Cに関する説明だとは思いますが、
0:32:39	今回、
0:32:42	6インチのうち、妊娠が今回の資料4で説明されるわけですが、
0:32:47	これもグループ3、
0:32:49	Dすべてっていうのも、なかなかタイミング的には合わないんじゃないかなと思ったんですが、
0:32:54	こちらはいかがでしょう。
0:33:14	オギニシダでございますまずは、
0:33:19	六つのイシイを肝考えて最も大きいものを、その医師に対する設備に対する風量として設定をしますよという考え方は共通的なものなので、
0:33:34	各それぞれの因子を、どういう考え方で設定をするのかということも共通的な考え方としては、
0:33:42	二つの因子を説明する際に、説明が必要なような気もします。
0:33:48	ただ具体の話の評価のやり方だっりのの根拠となると、そのそれぞれの評価項目を出すときに説明をさせていただくということで、
0:33:58	全体としての構成等、その説明グループで出てくるパートとの関係性の一体整理をして、どこまでを、
0:34:09	どの説明グループで出すのかということをご説明できるようにさせていただければと思います。

0:34:15	はい。規制庁甲斐です。その辺の情報があれば、はい。おのずと出てく ると思いますので、よろしくお願いします。
0:34:22	資料に私から以上であります。
0:34:26	規制庁上手です資料 2 ってことでもないし、もう何回か話を聞いてるとこ ろではありつつなんですけど。
0:34:35	耐震の方だと、
0:34:38	DBの耐震とSAの耐震は、拾いつつもう 1.2Ssは今入ってないと。
0:34:45	いうことで、一方で、MOXの第 2 回においても、換気設備なんか 1.2Ss ものがあるって、実際、今回その資料 4 も、
0:34:56	それに対応するようなものも説明されてるんですけど、1.2Ssの扱って 今どうなりましたっけ。
0:35:10	森井吉井です。はい。はい。二本木ニシダでございます
0:35:18	説明グループのまず状態としては、DB側とSA側で説明グループを分 けているのが現状でございますからタダ対象物はDBSA兼用部分なの で、
0:35:32	換気設備のダクトをダンパー灰吹の原子、
0:35:37	が、あとフィルター買うケーシングが対象になるということで、
0:35:43	この辺の考え方だったりをどっかでちゃんと説明をしないといけないとい うのでそれを説明グループ 5 の段階でやろうと思ってました。
0:35:53	ただこの状態としてみれば教育委員会も変えなくても説明ができるよう な設備であったりもするのでその辺をどう仕分けをして、
0:36:03	説明をしていくかっていうのをちゃんと整理をして説明していかないとい けないというふうに思っていました。
0:36:12	はい。規制庁深見です。うん。ここまで待つというよりは、わかってるん だったら、
0:36:18	とりあえず一緒です。今の資料 4 の考え方で、ここを読み変えれば、一 緒ですっていうところぐらいは明確にして話を。
0:36:29	中身として話を終わらせておかないと何かこう宙ぶらりん感があるし、 資料 1 からの流れだとやっぱりおかしい感じがするので、その辺は技 術関係を踏まえて一緒に話をできる場、一緒ですっていう、明確にして 進められればと思いました。
0:36:49	はい、日本インダでございますはい。ありがとうございます。そうですね 説明グループ 5 に来て一緒ですっていうのに、言って意味もあまりなく て説明グループ 1 例を開く、耐震プロセス設計プロセスか。
0:37:02	説明してる中で、一緒ですということを、整理をして説明していくというの はおっしゃる通りだと思うので、はい。整理をしていきたいと思います。



0:37:12	はい、規制庁上津一方でちょっと悩ましいのが 1.2Ssのフィルターとかってもうそれぞれそのもの 1.2Ssだからいいんですけど、主配管みたいなものは、いろんなクラスが一つの
0:37:26	分類室アノて設備登録として一つってなっていて、そのトライイをちゃんと接続としての波及影響見てますよって話も聞かなきゃいけないんですけどそれをどのタイミングで、
0:37:38	やるのかっていうのはちょっとあるかなと思いますので、その辺も含めてまた整理をして、いずれにしてもほとんど最初のところすると思うんですけど、また話を聞かせてください。
0:37:52	前にオギニシダでございます承知いたしましたせていただいている通り 1.2Ssはどちらかという構造が変わるわけではないので、協会ですね、どこで、
0:38:03	1.2Ssを期待するものとそうじゃないもん協会があるのかっていうところの説明が、兼用設備特に重要になるところだと思います。そういったものも含めて、全体説明しなきゃいけない項目と、
0:38:16	どういう説明グループでどう説明していくつもりなのかというのを、整理を進めさせていただければと思います。
0:38:24	はい、規制庁カミデスミエとは言っても、SとBCの発表で、接続部の波及影響もあるでしょうからそこに包含するって言っちゃうから、一緒なのであんまり特別所に置くような問題もないような気がしてますけどその辺はまだ、
0:38:39	波及的なところは、今回まだそんなに仕様拡充さされてないような感じなので、また見ればここは以上です。
0:38:55	他に 111 ページ目までで、
0:38:58	資料 2 関係で何かございますでしょうか。
0:39:09	はい。そしたら 212 ページ目以降の資料 4 ですかね。
0:39:15	まず評価項目一覧表のところまででお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。お願ひします。
0:39:22	はい、日本イシダでございますはい。212 ページからは、資料 4 でございます。今おっしゃっていただいた 215、
0:39:33	から後は、評価項目一覧表でございます。
0:39:36	こちらは前回から変えたところと言いますと先ほど資料 2 の資料になって、
0:39:46	本文では本部の中でご説明した。
0:39:49	説明グループ、
0:39:53	これもあれか、まだ括弧かい構造とかかっこ評価とか言っていないんだ。

0:39:59	同じ日、違うか。一応右側にある説明グループさんが前回三つのグループに分けて評価のところ評価時説明時か。
0:40:10	説明時期のところの説明グループさんになってるところが三つに分類してましたけどもそこを三つに分類をやめたというところの修正ぐらいでございます。
0:40:21	そのあたりについて別添のときに、修正はございません。はい。
0:40:31	はい。
0:40:33	確認入りたいと思いますページ数でいうと、
0:40:39	227 ページ目ですかね、範囲で確認していきたいと思います。
0:40:46	私からなんですけど、まず 215 ページ目の、
0:40:51	説明時期っていう、別の書き方なんですけど、
0:40:56	例えば 2 行目の 10 条の①っていうところで、
0:41:02	評価の前提となる構造設計及びシステム設計で初老っていうところへ、理由としてグループ 3 で説明するっていうのを書いていると思うんですけど。
0:41:12	上の行と下の行では何の構造設計とか何のシステム設計っていうところまで書いてあると思うので、ちょっと対象を明らかにしてですね一番右側の
0:41:25	列の、
0:41:27	構造設計と、
0:41:29	どこが対応してるのかっていうのをわかるように修正をお願いしたいと思うんですがいかがですか。
0:41:36	はい、二本木西田でございます。はい。サブチャ臨界とかおっしゃる通り 1 回定員と複数ユニットに 9 ある。この設計が出るタイミング、
0:41:49	ということで、説明グループ 3 と書いてあると。一方重量の①は、単純に構造セキュリティの設計と書いてあって右を見ると、六つ目グループ 1 で漏えい液受け皿説明グループ 3 で施設が漏えいセキと。
0:42:01	紡績下の構造設計の年これらの構造設計必要なものとして、これらの構造設計が鉄道めぐり間で説明すると。
0:42:10	ということで、記載の拡充をさせていただきます。オカ 5、足りなければ同じように、追加をして整理をしていきます。
0:42:17	はい。お願いいたします。
0:42:21	あとは 220 ページ目ですかね、ちょっと別添 2 入ってしまうんですけども、
0:42:28	ちょっと読み方というか、起債の目的というかそれもその辺を確認したくてですね。

0:42:36	列の中で、右から 2 番目の評価項目っていうところで、ステップ 1 とかステップに書いてあるじゃないすか。
0:42:47	このステップ 1 とステップ 2、それぞれ分ける目的と、
0:42:52	それぞれ何をするのかっていうのが少し、本文、
0:42:58	共通 12 の本文 30 ページと 31 ページぐらいに該当するのかなと思うんですけど。
0:43:04	ちょっとその辺の考え方で、
0:43:07	どこでこれ、
0:43:08	こういうステップを置いて整理していくっていうのがわかるのかっていうのを教えてもらえませんか。
0:43:25	はい、与儀首藤でございますはい。
0:43:33	おいて、
0:43:36	まず 220 ページの表のステップ 1 ステップ 2 というところに
0:43:47	今日単純ですけど概略を書いています。まずは、各条文の基本設計方針の単位で評価の項目を並べて、
0:43:59	且つこの中で、同じキーワードになっているものは久米に行きましょうかというのがまずステップ 1 でやってることではありません。
0:44:07	さらに、評価の方法だったり、評価のステップであったり、
0:44:13	あと資料 4 で説明をしようという内容を見たときに、これは共通項だといえるものをまとめに行くのを、国でやろうということでステップを踏んでおります。
0:44:25	結局は、セルの最後ステップ 2 だけでいいとは思いながらも、最初に作業してもらった時にですねステップ 1 で止まってしまったので、いやこれもうちちょっと、
0:44:36	累計できるでしょうということで話をさせていただいた中で話をですね、このステップの 2 を高くすることによってさらに、
0:44:47	累計してその中での代表を選ぶだったりという作業に持っていきたいなということでありました。
0:44:53	その考え方がどこかに書いてあるかという、
0:44:59	書いた記憶がないので書いてないと思うので本文谷中アノ菅。
0:45:06	はい。
0:45:08	はい。お願いしますちょっと類型化して絞り込んでって、
0:45:13	どのような形で、次の(2)につなげるのかっていう流れがいまいち飛び飛びでわからなかったの、ちょっと連続性がわかるように、
0:45:23	整理をお願いしたいと思います。

0:45:28	はい。日本原燃石田でございます承知いたしましたこれ資料 3 までの流れと同じように、後で書いてることって結局はこういう表を作ってる時にですねやはり、
0:45:41	個別で説明する内容を念頭にやらないといけないということもあるので、そういうところを、策、
0:45:48	はしょって書いてしまった結果がわかりづらくなってると思うので、考え方なりやることがもうちょっとわかるようにはい、本文のケアも含めてさせていただきます。
0:45:59	はい。
0:46:02	あとはですねこの表の見方の中で、
0:46:10	例えばステップ 2 の、
0:46:12	下に書いてあるステップ 1 から評価内容を踏まえて累計して説明する評価項目を設定しますって書いてあるんですけども、
0:46:22	ここでいう評価内容っていうのは、
0:46:25	どれなんですかね。表で言うと説明内容ってやつなんですか、そのステップ 1 の左側にある。
0:46:35	はい、二本木西田でございますタテ。
0:46:39	例えばですけど委員会の場合は、どちらかというともう資料 4 でどういうことを、今川口とかでやってるような評価のステップですね。
0:46:50	それをイメージして、その中で、そのステップなり、評価としての考え方が、
0:46:57	同じかどうかということで、見に行ってます。そういう意味では
0:47:03	書いてあることがもうちょっと何を示しているかがわかるようにしないと、おっしゃっていて、左側に評価ないと、誤解を与えてしまうので、その辺の整理ができればと思います。はい。はい。
0:47:17	それで次の話として、臨界って、多分未臨界維持ってところを評価で示すっていう形なので、多分単純に一つの臨界評価っていう形で、ステップ 20、
0:47:30	収まっているのかなと思うんですけども。
0:47:33	例えば 221 ページ目の、
0:47:38	四条の 26 ですかね、一番。
0:47:42	左のところ、4 条の 26 の、
0:47:46	両括弧、
0:47:49	ペレット積載分高さってあるじゃないですか。
0:47:53	これって臨界評価。

0:47:57	とあんまり直接関係ないような形でどちらかという設定根拠っぽいような評価をしていると思うんですけども、これも臨界評価って呼ぶことになるんですか。
0:48:23	はい。イデシダでございますこの辺はですね今の
0:48:29	高さですね、これ臨海利益とモデルを設定するってところの条件の一つだと認識をしています。そういう意味で例えば臨界流モデルを設定して、
0:48:42	水反射とかいろんな反射条件を決めて、影響委員会設定して臨界の評価をしていくということですけどもその全体の流れの中のモデルの設定のところにこれが、
0:48:54	インプットで入ってくるということで認識を整理しました。
0:48:57	了解でそういう意味だと、臨界評価の一つの要素として例えば中心からの感覚とか、壁厚ととかと同様に計算条件として対応っていうの、
0:49:09	長い委員会評価にしてるっていうことなんです。
0:49:11	はい。
0:49:13	うん。
0:49:17	ということになります。はい、わかりました。その辺は評価の中で示していただくということで、はい、理解しました。
0:49:27	下に 127 ページ目までの話として私からは以上です。
0:49:35	規制庁課です。
0:49:37	219 ページ目。
0:49:42	バスがシライ。
0:49:44	すいません、220 ページ目からの別添の方の、
0:49:49	分類、1 人、
0:49:55	左から三つ目の分類で評価と評価条件に分けていて、
0:49:59	評価条件になったものが、
0:50:03	評価項目とかで、バーになると評価項目のみ見いだしのところに、評価条件については適合性評価の中の
0:50:12	評価条件の設定の考え方で説明するためバーとするっていうふうになってるんですけども、ここの適合性評価の中の評価条件の設定の考え方っていうのは、
0:50:22	どこのことを示してるんでしょうか。
0:50:37	ミネギシちょっとだけ待ってくださいね。
0:51:53	人間必要でございます。少なくとも確かにこれだとどこにひもづいているのかわからないので、評価として説明するんであればどの番号の評価の中で説明するのかなのか。

0:52:06	どこと合わせてやるのか、ちょっと明確にしないと、何か置き去りに しているような気もするので、評価条件として以上は何らかひもづけを するという事で整理をさせていただければと思います。
0:52:19	はい、規制庁ハヤシオカありました。おそらく資料4の中でどっかで使う から、今評価条件というふうに、
0:52:27	分類されているとそういうことですね。はい。
0:52:32	若干、
0:52:36	難しいなと思うのは、220 ページ、2 ページの 46 番、6027-46 番この基 本設計方針から何か具体的な数字的なものが生まれるかという、
0:52:48	そういうのもあんまりないところがあったりするので本当にこれを評価条 件として紐づけていいのかっていうのも含めて整理かなと思います。は い。
0:52:56	はい。いろんな種類があってそれを非一緒くたに
0:53:00	どこで説明するっていうのは難しいかなと思って伺っシライので、その辺 の整理よろしくをお願いします。
0:53:08	私から(1)、以上です。
0:53:13	はい。他
0:53:15	うん。
0:53:16	加来ですけ、今野イシハラさんが評価条件とするかどうかっていう、
0:53:22	言われたのは、どこの場所だ。
0:53:24	うん。
0:53:26	教えてもらえますか。
0:53:28	はい。日本原燃石田でございます私の発言が正しいかどうか後で確 認したいと思っておりますけど、222 ページの 6 条 27 条の -40 億と言ってる 下から三つ目ですね。
0:53:41	施設共通と言っている機器配管系の静的地震力呉。
0:53:46	足ウエイ
0:53:48	はい。はい。これは静的地震力を設定をすることを評価の流れの中で 書いてですね。はい。いるわけで、
0:53:59	それを説明しますと言ってるだ形だと思うんで、
0:54:04	特段、
0:54:06	議論はないですけど、書いてなきゃ困るので、そうですね買い付けるっ ていうだけだと思います。
0:54:12	はい。ありがとうございます。はい。
0:54:21	はい。他一覧表等で、
0:54:24	規制庁側から確認等ございますでしょうか。
0:54:29	規制庁カミデです。先ほどお話をした最新の

0:54:34	代表性みたいなところって、
0:54:37	あれですか、223 ページあたりで話をしてるつもりなんでしたっけ、まだあと何でしたっけ。
0:54:46	すいませんまだ後です。はい。
0:54:50	はい。布施ジオパークじゃちょっとここでは触れないときます。はい、じゃあ、とりあえず進んでください。
0:54:59	はい。
0:55:01	他でございますでしょうか。
0:55:06	そしたら、続いては 228 ページ目以降ですかね。
0:55:11	(2)の評価方法なり、評価条件等について、
0:55:16	説明をお願いしたいと思いますけども。
0:55:20	パターンごとに分かれていますので、
0:55:25	パターンが三つあると思いますので、最後のやつは金曜日に具体的にヒアリングすると言っていますから、
0:55:35	一井。
0:55:38	とにそれぞれ分けて説明をお願いいたします。
0:55:47	出野インダでございます。さんも一応先ほどのカミデさんの話で代表海野宛始まったので、123 に分けて説明しようかなと思ってましたが、業界でそういう意味だとあれですよ。代表の話とかのさわりの部分であったりとかほう素
0:56:03	展開の仕方について、口頭で説明できるような点があれば、さんの中でっていう形をお願いしたいと思います。
0:56:11	はい。日本原燃清でございますそれでは評価パターン(1)ということで機能性に係る適合性評価ということで 230 ページからが(1)の、
0:56:21	話でございます。231 が最初の増益日、受け皿の話と、施設が漏えい時期ということですがこのパートは、特に前回から修正をしております。
0:56:35	直しているのは 242 ページからの
0:56:41	分厚い時等に必要な換気風量の性評価ということでございます。
0:56:49	具体的には 244 ページからなんですけど、前回のやりとりを踏まえまして、まずは風量設定全体の考え方を 244 ページ、2、
0:57:03	書きましたが、まず一つ、詰め込み感が大分あってもうちょっと整理をしないとなというのがありますけども必要な、先ほどからあった 6 日です。ねの話であったりということを書いて、
0:57:16	整理をさせていただいているところでございます。
0:57:20	左下にある図もですね修正をさせていただいてるんですが、現状まだ足りないと思っているのは、このページをめくって次に 120、245 ページに来ると、この前のページとのリンクが全くないまま、

0:57:37	評価条件の 2-2 のところ 2.2. 1、負圧維持等により上二つ維持に必要な換気風量ということでグローボックス等を工程室、建屋、
0:57:49	ナカ 2.2. 2 というような流れになっててこの例えば(2)の工程室建屋で書いてあるABCって言うてる項目がここで言うてる。
0:57:59	例えばですけど 9-1 とか 9-2 とどういう関係があるのかということのリンケージがですねまだ取れてないので、そういったところは、資料としても、修正が必要だと。
0:58:11	いうふうに思ってます。
0:58:13	はい。あとは、
0:58:16	前回のやりとりを踏まえて実バーとしての整理であったりあとはまだ、
0:58:22	前回の資料でも
0:58:24	グローボックス等、固定建屋みたいなものを完全に分離して、
0:58:29	言い方がいいかどうかですけど、別々のものをただ引き受けましたみたいな感があったので、もうちょっと統合したかの整理をしたいなということで、
0:58:39	一応工夫はしながらもまだ、
0:58:43	合体しただけみたいなイメージが残っているところはさらに、整理を進めたいと思ってます。
0:58:49	はい。
0:58:51	あと 246 ページ、2、評価条件のところ、グローボックス呉とかの評価ですね前回もお話があった。
0:59:02	業績をどう考えるかということでグローボックス全部で 301 個ありますけども、1 個あたりのグローボックスについての負圧維持をどうせ整理していくかってことで、
0:59:15	どこだっけ。
0:59:19	違うな。全体、もう比較してもと大きいやつグローボックスとしての代表にしてそれを残りの数ですね、出し合わせてそれぞれの体積で評価をしていこうと。
0:59:32	いうことを書いているところでございます。
0:59:36	あとはその具体を 248 ページに評価用の容積の出し方ということで、
0:59:41	ここで実際、グローボックスあたりグローボックス以外の同等の閉じ込めを有する機器の容積をどう考えるかと。
0:59:49	いうことの整理を書いてございます。
0:59:53	ここでの業績になるところは個別不足、その下にアスタリスクに 1 回てありますけども関係 012。
1:00:06	飛ばしていると、ここが全体説明する中で、個別補足が要るだろうということで追加をさせていただいたポイントでございます。



1:00:17	あとは、経営と、
1:00:20	49 ページ、グローボックス評価への容積先ほど、考え方でいくところになりますよということを、具体の計上と合わせて業績を出したと。
1:00:32	いうこと。ここまでがグローボックスの話等の話で、250 ページからが、工程室建屋に関する評価条件の話を書いています。
1:00:43	いうことでございます。
1:00:45	はい。実際は建具つける協会にある建物、東京に応じて
1:00:53	通気量を決めて、それでの評価をしていきますということを、条件に設定をさせていただいています。
1:01:01	この考え方もこの 242、200、
1:01:06	50 ページ下に書かさせていただきました。
1:01:11	要は、
1:01:13	253 ページは先ほどあった評価の式をどう整理するか、これも前回から若干してますが全体の整理の中での修正、
1:01:24	いうところでございます。
1:01:27	はい。
1:01:29	あとは、全体の、
1:01:37	こういった
1:01:39	劣化、あとは 255 ページにあるのがこの後で説明する。
1:01:45	閉じ込め 02 との関係で、オープンポートボックス、グローボックスをポートボックスフードの開口部の
1:01:56	面積ですねどう取ってるかということ、それを表にしたものになりますこれと、閉じ込め 0 にその根拠ということを整理をさせていただきました。
1:02:06	はい。257 ページが、工程室、258 ページが査定やの負圧に関する評価結果と、
1:02:16	いうことでございます。
1:02:18	これに関係する補足として、
1:02:26	預けて、
1:02:30	関係の市の方が、1 月 20、11 月 10 日同じ日に提出したものこれ関連新規になります。閉じ込め機能維持に必要なとなる風量の設定からグローボックス等の容積の設定の考え方。
1:02:45	ということで、先ほどあったような、
1:02:49	グローボックスの容積については、4 ページがある通り、計算しますけれども、この上についている配置法とかの考え部分ですねこの容積をどう考えるかが、
1:03:00	5 ページ側にパーツを含めて、業績の出し方を 5 ページ 6 ページ、示させていただきます。でございます。

1:03:08	はい。
1:03:09	グローブボックス以外のグローブと同等の閉じ込め機能は、若干先ほどの資料 4 とあまり記載が増えてるわけじゃないですけど、8 ページ側に書いてあります。
1:03:21	いうこと。
1:03:22	あとは、グローボックス最大になるものをとっていると言っていることですが、その全体のリストがですね 11 ページ以降に載ってます。
1:03:43	最大の 106 と言ったのが 16 ページにある、177 番ですね、このやつが一番最大だと、いうことで整理をさせていただいているということでございます。
1:03:55	先ほどあった全体の容積をどう考えてるかというのと、最大だと言っているものが確かに最大であるということも前回の整理と、
1:04:06	いうことでこの関係の位置を整理をさせていただきました。
1:04:10	また閉じ込めるように、ですけどもこれも同じ 1 月 10 日に提出をさせていただいてございますこれはリビジョン 3 ということで前回から修正をさせていただいてます。
1:04:21	まだ若干資料 3 だったり資料 4 との紐付けということが、十分できてない部分ありますが 2 ポツで、
1:04:32	資料 3 の中でオープンとボックスが、開口部風速を維持するために必要な開口を制限しますよということを言ってます。
1:04:42	この開口の制限というのをどうやってやっていくのかどういう用途の関係なのかというのを、一つ 1 頭分コードボックスを挙げて整理をしていくということで 2.1 以降に書いております。
1:04:55	3 ページ以降に、それぞれ(1)から順番に対象の分コードボックス等、申請開示を示した上で、
1:05:05	それぞれのオープンポートボックス作業と開口額関係性について整理をさせていただきました。その中で、5 ページにあるような全体のものの流れ、だったり作業の流れというのも含めて説明しないとやはり全体のイメージが掴めないだろうということで、
1:05:22	概要図の拡充もさせていただいているところでございます。
1:05:27	はい。
1:05:30	でそれを全体見直して拡充をして展開をしたのと、フードの方も同じように、対象物がわかるように 37 ページ以降ですかね。
1:05:42	ええ。
1:05:44	放射能測定設備の風土と、放射線放出管理用分析の風土と、
1:05:52	いうことでそれぞれの開口は特に変わりませんが、作業の流れというのを整理をしています。

1:06:01	39 ページにある 4 ポツ、ここで資料 4 でいって先ほどの開口面積との関係でこの前に説明したものを一覧表でまとめたものと、
1:06:12	というのが 38。
1:06:15	40 ページか、40 ページにある表でございます。はい。
1:06:20	これが先ほどの資料 4 の表とのリンケージが図れているということでございました。はい。
1:06:26	(1)については説明は以上です。
1:06:30	はい。どうもありがとうございました。
1:06:33	それではちょっと遅くまで説明いただいたので、
1:06:39	パートごとにちょっと区切って進めたいと思います。
1:06:42	242 ページ目までが漏えい液受け皿等、セキ関係なので、そこでまずは区切って、
1:06:50	議論を進めたいと思います。
1:06:54	私からは 237 ページ目で、
1:07:00	確認、読み方の確認なんですけども、
1:07:05	3.2 ポツの受け皿面積の一番最後のパラグラフでこれを踏まえというところで、
1:07:13	貯留量を小さく見積もるためっていうのは、これはどういう意図なんでしたっけ。
1:07:28	漏えい液受け皿高さが厳しくなるっていうイメージなのかなって思ったんですけども。
1:07:35	はい。はい。乳井西尾でございます
1:07:40	池永木皿が受けられる、
1:07:49	高規格なんでカナイ体困る。
1:07:56	最後の高さに効くのかって、
1:07:58	ですね、高さを
1:08:02	高さが高くなるように、
1:08:05	そうですね必要高さが高くなるようにしてますよね。
1:08:10	です。はい。何か貯留量を小さくしてしまったら、
1:08:14	高さん、高久ならないんじゃないのっていう意図なの。ちょっと正しい表現にお願いしたいと思います。はい。
1:08:22	漏えい器関係私からは以上です。
1:08:26	うん規制庁科別幾つか確認させていただきます。ちょっと 235 ページ目の 3.1(1)で、
1:08:35	都丸一井のところ、容器の話を、
1:08:39	しているんですが、この運転時における残留液量。
1:08:44	っていうのは、具体的にはどんな

1:08:49	ことが想定されてるんでしょうか。
1:08:55	はい。乳井西尾でございます。これは、
1:08:58	私の言ってる日本語が通常じゃないからですね併用みたいなもんですね、アノ会館必ず下についてるっていう空間があるはずなので、そこまで行け両手の最後、必ず残るものがあると。
1:09:12	いうことを言ってるんだと思って書いてました。はい。はい、齊藤です。そうだと思う、公称値は、運転費における残留液量と市場で処理量にプラス、
1:09:24	何らかのマージンを乗せて、トーセ、
1:09:28	予定されたものだから、公称値を使いますですよ。
1:09:32	はい。乳井ニシダでございます。はい。そういうことです。
1:09:35	はい。超過です。丸野都丸さんがその観点というか気になっていてですね、
1:09:43	この②や③は使用時の漏洩量の上振れの不確かさみたいなものが、
1:09:49	何か載ってないような、
1:09:51	印象を持ってまして、そこで何か考えられてるのかっていうところを教えてください。
1:10:09	人間ニシナでございます。少々お待ちください。
1:10:47	はい、日本イセでございますこれわああれですね戦場としての使用してる時の運転条件としての状態を示しているんで、
1:10:57	①番と考え方が違うのがいいのかってのは整理が必要だという認識を今しました。はい。
1:11:04	構造多分インターロックなりなんなり精査があつてそれ以上行けばいかなないようになってますなんですけど、上の①番はそれをさらに見越して、
1:11:14	上振れまで考えて、交渉中でやってるってことと、②番が、考え方が合ってますかっていうところは整理をさせていただきます。
1:11:24	はい。規制庁岡です。
1:11:26	と、あと、黄砂なんかはどう配慮されてるのかなというところもちよつと気になってまして、実際交差とかってこういうものにはあるんですよ。
1:11:44	はい、二本木西浦でございますその公差が要用との関係でどこまで行くかって話もあると思いますね。はい。はい。松岡です。都丸さんなんかだとこれ人はおそらくコウので、取り扱いですとか、何か。
1:12:00	ちよつと上ぶれの要素はありつつも、ガチガチだなっていう印象を持ちましたので、もしそういう設定ができるのであればちゃんとそういう説明をしていただく必要があるかなと思っています。はい。
1:12:14	わかりました。入園者でございますはい。

1:12:18	とはいえあまり極端にありえない数字を設定するっていうのもあれなの ではない。とはいえ、
1:12:26	③番は特にそうですね。
1:12:31	どこの施設でも、あまり設定した通り運用してないところが多いのでは ない。ちょっと考えますはい。
1:12:38	はい。
1:12:39	超過です。あと 237 ページ目、AXそうですね。235 ページの、今オオオ カから言った話はですね。
1:12:50	こういったQAで終わりにするということではなくてちゃんと書面で表して 欲しいと。
1:12:57	いうところです。で、一番最初残留液量についてですね、どう見積もるん だっというのがこれだとさっぱりわからなくてそういうパラメーターがあり ますよっていうだけなんですよ。
1:13:10	なので、設定根拠までいってないですから、先ほど言ったノズルの設置 位置、
1:13:19	残留液量が見積もるのであれば、そういうものがあってその下の部分 の領域をこういうふうに算出していきますと。
1:13:30	というようなことまで上げてナイトウ説明にならないと思うん
1:13:35	です。
1:13:36	はい。内容、中のコイルが入っていたりとかということもあったりすると思 うんですけど、
1:13:43	そういったもの、何か説明がやっぱり全般足りないような気がするん。
1:13:47	こちら辺拡充すればいいですかね。はい、西田でございますがここはあ れですね、MOXの人達私が教育しないといけなかったですね。はい。 最初におっしゃっていただいているタンクとかの容量の場合はそういうこと を見積もっていくときの前提なり、
1:14:04	構造図から、配管の下端と、下の日、
1:14:09	容積ですね出したりとかっていうこと考え方をちゃんと書いて、金融量 をどんだけ見積もってますと、いうことだったり、配管のオーバーフロー ラインがどこにあって、それより上側に、
1:14:23	こんだけプラスアルファして設置してますとか、そういうこと担当構造と の関係で説明をすると。
1:14:30	いうことをやってきた。
1:14:32	経緯もあるので、そういうことを前提に整理同じようにさせていただきます すはい。
1:14:37	はい、長田ですよろしく申し上げます。それが、

1:14:41	容量の設定根拠側で書いてあって、それをこちらで使うんだっていうことであればそういう説明でもいいんですけど、いずれにしてもちゃんと繋がるようにということでお願いします。で、
1:14:54	一応今回、多少言葉が足りないにしても、公称値っていうのがどういう意味合いかということを言われているのでまだよかったですけど、
1:15:05	先ほど話になったその次のものは設計値ということでその意味合いがちょっとはっきりしないと。
1:15:11	というようなことがあるので、先ほどのアノコウさあの扱っていうのも含めてですね、どういう設定にして、だから、こういうふうに使いますよと。
1:15:21	いうふうにしっかりとつなげていただければと思います。
1:15:25	それですね、
1:15:29	この後のページとかでも話ありましたけど、
1:15:32	文字を盛りだくさんに入れ込み過ぎで見えないんですよ。
1:15:38	行間を開けたり文字をでかくしたりっていうので、ページ増えてもいいので、もっと何が言いたいのがちゃんと視覚的に入るように書類作ってもらえませんか。
1:15:51	はい、井上瀬谷でございます。はい、承知いたしました。はい。
1:15:56	私も出しておきながらはい。引き続きづらいなど。はい。思っていました。はい。整理します。
1:16:03	はい。お願いします。岡さんどうぞ。
1:16:06	規制庁岡です。次に 137 ページ目の欠損部の考慮のところ 3.3. 1 なんですけど、
1:16:13	ここ、今後、補足説明資料が出されるということではあったんですが、例えば、下の図の 2、
1:16:21	年、
1:16:23	左から二つの間が、ちょっといい材料になると思うんですが、
1:16:29	台座広くて、その上に第
1:16:33	柱が載っているような、こういう場合って、
1:16:38	まず、
1:16:39	床止めしている台座の面積を上を垂直に上げていって、
1:16:47	その中でありとかがあったら、
1:16:52	欠損部になりますよみたいに、
1:16:56	一応読めるんですけど、そこまではやってなくて、柱部分は、柱部分で、欠損部 2 行下から見ると、収縮するようなそういうことをやってるんでしょうか。
1:17:32	はい。弓削ニシウラでございます。まずは、

1:17:40	237 ページの下が下の 2 番左から 2 番目です。おっしゃっていただいたように
1:17:50	台座の両端みたいのを垂直に上げてってこれが全体の体積ですよ。そこからある部分を引いていきますっていうやり方も、
1:18:00	あると思うんですけど現状やったようなこの青い部分の、今ここで言うてるような一つ上の時ですけど複雑な形状の場合はしか口形状とか円柱を想定して体制をたんすって目的に
1:18:13	それをカバーできるような形状を模擬してあって、その青い部分をパーツを分解して足し合わせて容積を出すと。
1:18:22	というようなやり方をしているようですただそれも、この文章じゃとてもわからないので、全体どうしているかを、ちゃんと書く必要があるか。
1:18:31	はい。
1:18:32	はい、伊勢です。これがJASつめのポツの複雑な形状として扱われていてっていうそこら辺がですね基本的に、普通に読むと一番左のように、
1:18:43	一番下の床に面しているところから垂直に上に上げていくと面積。
1:18:49	体積を出しているみたいなの。
1:18:53	読み方をするんですが、一方で図の方は、ブルーで削っているようなところもありますので、その辺の考え方ですねこういう場合は、複雑な形状として扱ってますみたいなのところが、
1:19:07	もうちょっと欠損部に関しては、しっかり見といた方がいいかなと思ってますので、
1:19:13	補足説明も出されるということですが、また、その辺の説明の拡充をお願いします。
1:19:22	はい。日本原燃伊勢でございます承知いたしました。
1:19:25	はい、清長かです。関連してなんですが、高さ方向の交差っていうのが、結局、
1:19:33	3.3 の中で、もうどこも説明がないまま 4 の、
1:19:37	方の説明に行っていて、
1:19:39	例えばセキの方でも少し話題にはなってるそこなんですけど底面の高さ方向の交差っていうのとか、
1:19:47	セキの方では床面の勾配とかもあって、こちらは漏えい液受け皿は下側、コウ、
1:19:55	まず 2 筆 237 ページの図で書かれてるんですが、そこはもう勾配なんかはないんです。

1:20:08	はい、日本イシダでございます勾配は特にございませぬ。ただそういう条件が前提だということも書いてないのでそういったことの必要な条件をちゃんと書くようにさせていただきます。
1:20:19	はい、規制庁です。あとやっぱり、
1:20:22	床面高さの講座っていうのは、どうやってこう、
1:20:28	考慮してるのかなっていうところが気になってるんですがそこは今の評価ではどうなってるんでしょうか。
1:20:57	はい、日本イシダでございます。ちょっと問題をすりかえているように聞こえてしまったら申し訳ないですけど、今、欠損部高さって、アノ等の例えば漏えい器として、
1:21:11	流れていく、来る部分の、実際の高さですねそれとの関係で出すんだと思うんですけど、ここで溶液の請負の高さまでマックス見て、欠損も含めて評価をしていると。
1:21:25	ということで、そこある程度のものを吸収できるようにしているつもりではありません。ただそういったこと的前提の考え方もないですし、あとは次、普通に考えるべき構想みたいのをどう考えているんだと。
1:21:39	いうこと考え方もないので全体の整理をさせていただければと思います。
1:21:45	はい、規制庁課ですわかりました。4ポツの許容限界のところの2段落目で仕様表に主要寸法としての高さの公称値を示しておいてあってそこで少しコウサノことは、
1:21:58	書いてはいるんですがちょっとここなんか、結局、どうやって扱ってるのかっていうのがちょっとわからない。そうですね。はい、わかりました。はい。日本イシダでございますこの4等も含めて全体に渡して
1:22:13	同意というか、全体必要な項目をちゃんと書いていくということで、もう一度整理をさせていただきます。はい。
1:22:19	はい、規制庁からです。お願いします。あと、ちょっと軽微の話というか239ページ目から添付で、他の代表じゃない、説明以外のものは、
1:22:30	一覧で並んでいてこういうのって、結局パワーポイント形式でずっと出していくっていうふうになってたんですかね。
1:22:37	以前もお話しました。
1:22:45	添付書類を展開する時のともかくワードで、少し、
1:22:51	整理するっていうのもあるんじゃないかと言いましたが結局はもう、今のフォーマットで進めていくということです。
1:22:59	はい、弓削ニシダでございます現状はそうさせていただきますまあ、そうですね前々からあった通り、より考えた時どうすんだってところは、



1:23:10	整理を引き続きさせていただかないといけないですかこの順番で並べてみた時にやはり、この状態で全体的には整理ができた方が、
1:23:21	読みやすいのかなというのも含めて、まだ形状としては同じ、特に変更しておりませんでした。はい、わかりました。現時点では、特に、
1:23:32	下がってるなというところはないんですが、今後増えてきたらどうすのかなというところで、気になってた次第です。
1:23:40	あと、これも確認した 241 ページ名の、
1:23:45	受け皿タテ先方。
1:23:48	少しバラつきがあるんですが、わずかなばらつきのものが結構あって、おそらく兄弟だろうと思われるx94 と 95 の、
1:24:02	298.5 と 298、3、3 ミリとか、
1:24:08	あとx97TOPIX98 の 3mmとかですね。
1:24:12	な、何の差なのかなっていう、何かわかりますか。
1:24:34	はい。与儀ニシダでございます現時点ですいません私が測定できないので調べます。はい。調べて、
1:24:42	後日でも回答次のヒアリングでの回答できるシゲマスアノ現状の設計情報からピックアップしてますのでなぜこの差が出てくるかと、いうことを確認していきます。はい。
1:24:54	はい。清家。わかりました。あと、
1:24:58	よくある話なんですけど駅とか若狭とかが、小水位置までのものと、整数のものがあるんですが、ここは、
1:25:07	データ処理ポリシーはどうなってますでしょうか。
1:25:28	はい、日本インダでございます申し訳ございません風量の方は桁処理合わせて行ったんですけどこちらもあわせて、考え方を整理していきますはい。
1:25:38	はい。大丈夫ですよろしくお願いいたします。私からは以上です。
1:25:49	今の仮の話。
1:25:53	やっても結局さつきと伊奈同じなんですけど、
1:25:59	いや、えっとです。
1:26:02	この寸法はどこで使って、どういうふうになってる。
1:26:08	いいですか。
1:26:10	ていうのはパツと目に入らないんですけどどこに書いてあります。
1:26:33	はい、茂木西原でございますそうですね。
1:26:41	そうすると 238 ページのやつも結局最後まとめちゃってますけど、これがどっか出てきたかようわからんですよね。同じようにちょっと出てきた項目との関係を、

1:26:52	前提でして、どこをどこで設定したものがここに入るのかと、いうことをわかるようにさせていただければと思います。はい。
1:27:01	はい、加来です。238 ページだと、※2 で面積から欠損部の面積を引いた値と言っていてですね、サンポツジの面積からって言ってるんですけど、散髪には文書しか書いてない。
1:27:15	計算式がないんですよ。はい。
1:27:18	タテをかけるのは当たり前だろうと思ってると思うんですけど、
1:27:24	公称値で云々だっという関係もあるので、あと文章文章と式と、ちゃんと分けてですね。はい。その分、
1:27:34	文章なり希望なりのところで、表の、この
1:27:38	部分だということをちゃんと紐付けをするっていうのが、設工認申請書の添付書類の記載としては当たり前にやっていくことだろうなと思いますので、
1:27:49	それをここでしっかりと求めていただきたいと思います。
1:27:53	はい、乳井西田でございます承知いたしました。
1:27:57	補足です。そういう、それによってですね、表のこの部分っていうのは
1:28:03	結果にどう繋がっていくのか、大きめに見積もった方がいいのか小さめに見積もった方がいいのかと。
1:28:08	いうことが端的にわかるということになると思います。
1:28:13	います。
1:28:15	それ等、
1:28:18	240 ペイジー。
1:28:21	移行と下の表の話なんですけど、
1:28:24	私も
1:28:26	パワポで表がある必要はあまりなくて、それよりもこれまでの話のように設定こん
1:28:33	せ、算出方法としてですね、どういう根拠に基づいてどう見積もっていくのかっていうやり方がちゃんと明確になると。
1:28:42	いうことを、こちらで説明いただいて、その時の説明、評価方法に、
1:28:49	いくつかパターンがあるのであればそのパターンをそれぞれ書いていただく。
1:28:53	そのパターンのバックを付けなんかをしていただいて、
1:29:02	はどうなりなんなり要は補足説明資料みたいな形での作り込みの中でそれはどのパターンで計算しているのか。
1:29:13	図面を見て確かにそれで計算してますねっていうのがわかる。
1:29:17	いう形にさせていただければよくてと思ってる、ちょっと上流が弱い。
1:29:24	のに荷重だけ、表で、

1:29:27	やったかを見せてるっていうので、ちょっと繋がらないので、しっかりと
1:29:33	瓜生なり相田のところっていうのを拡充していただければと思います。
1:29:39	はい。日本原燃石原でございます承知いたしましたはおっしゃっていただいてるそれぞれのパートの考え方だったり根拠、あとそこでどういう
1:29:52	数値を使ってどう考えてその式は何があつてということをちゃんと1年長め整理をしながら、最後の表との関係性を示していくということで且つその
1:30:04	イマダ欠損分であつたり漏洩量の評価だったり、以降の評価の仕方でおそらく確かおっしゃる通りパターンが幾つか分かれると思うので、それと機器だったりリョウエキ位の最後の評価結果のやつですねこの辺の関係との、
1:30:21	整理だつたりということで補足の中で全体の整理をして行っていくということも含めて全体見渡していきたいと思ひますはい。
1:30:35	はい。コサクですよろしくお願ひします。それで今言ったような話っていうのがですね例えば 241 ページの表を見ると、米がそれ
1:30:46	を取られていてどういう、
1:30:48	やり方ですっていうのを本文側濃硝を呼び込んだりしてしてるんですけど。
1:30:54	これ何。
1:30:56	これで各
1:30:58	必要があるのかなあとかっていうのがよくわからなくて、
1:31:03	書くんであれば、238 ページのところに同じように書いてないと。
1:31:09	逆にそこで書くことが一番意味があるんじゃないかと思うんですけど何でこうなってるんですかね。
1:31:27	はい、西田でございますそっからちょっと私が、全体のケアがうまくいってなかった。
1:31:34	241 ページのやりとりの中でそういった、
1:31:36	この数字ってどっから持ってきたのかつてのがわかるようにならなきゃねって言って修正したんですけど、そのときに逆に 138 ページとのリンクページだつたり横並びも含めて、どこでどう示すのが一番いいのかつていうのを、
1:31:50	考えなきゃいけなかったね。単純にやりとりをした場所を直しに行ってるっていうのがいなかった。
1:31:57	わかりました。澄ん点では説明の主骨格は 238 ページがであつて、そのエビデンスというか、

1:32:09	具体ってところが、4、241 ページに今なってると思うので、ちゃんと前段で整理をしてってということだと思います。その時の呼び込みの仕方っていうのも、
1:32:20	添付資料にしたときに、添付書類にした時にどういう呼び込みの仕方をするのかと。
1:32:28	いうことも意識をして少し紐づけをしてもらったらいかなというふうには思います。
1:32:35	以上です。
1:32:38	はい。与儀イシダでございます。はい。ちょっと考えます。はい。
1:32:45	はい。
1:32:45	241 ページ目までほか、
1:32:48	ございますでしょう。
1:32:53	そしたら 242 ページ目以降の換気風量の話に、議論を移したいと思えます。
1:33:01	私から何点かっていうところで、
1:33:05	前回のヒアリングを受けて、244 ページなりで、しっかり 6 因子がありますとかって話と、
1:33:15	そのうち、シードDだけは今回示しますって説明範囲も書いてあるのかなと思うんですけどもちょっと詰め込み過ぎてて、
1:33:26	見にくいかなっていうのは、あるので、ちょっと石原さんの説明の中であつた通り、ここは適正化。
1:33:33	していただくのかなとは思っております。
1:33:37	それで、
1:33:40	内容なんですけども、
1:33:47	例えば 247 ページ目の評価条件で、
1:33:53	グローボックスの漏れ率なんか書いてあると思うんですけども、
1:33:57	この資料 2 と同じようにですね、ちゃんと自分で与えられているものなんだっていうのを示していただきたいと思うんですけども、いかがですかね。
1:34:13	はい、日本イシダでございます。
1:34:20	いや、うん。
1:34:22	入れいただいたポイントをして、必要な記載を拡充したいと思いますはい。はい。
1:34:27	一つ一つ先ほどの黄砂との交渉値とかって話もありましたけども、それとは違う理由でここ設定されてるっていうのがわかるように、
1:34:37	していただいた方がいいのかなと思いますのでよろしく願いいたします。

1:34:43	あとは続いて 248 ページ目で、
1:34:47	具体的に容積を出しますっていう、容積の算出しますっていうのがここに書いてあるんですけども、
1:34:55	先ほどと同じようにですね
1:35:00	用紙を算出する過程で全体的な話なんですけども、増益ザーと同様ですね、
1:35:08	交際交渉値っていうのはどのように形、算出過程でケアしているのかっていうところと、あと寸法等のオオモトの数字どう取り扱ってるのかっていうところを明示していただきたいと思うんですけどいかがですか。
1:35:29	はい、西田でございますはい先ほど木田であったように、残さ取り扱いをどうか。
1:35:37	ていうか、その数字サイドから持っていけるのかということの関係の整理を、同じようにさせていただきたいと思います。はい。はい。
1:35:46	それ本日別途用意されている神吉 01 の補足説明も同様ですので、
1:35:53	こっちに共通 12 の方にはサマリー書いて具体的な根拠みたいなのは 01 の方で、拡充いただければと思っております。
1:36:05	はい、承知いたしました。
1:36:08	もう一つはイセ、ごめんなさい、古作です。
1:36:13	ちょっと話戻っちゃって申し訳ないんですけど、247 ページで漏れ率の話をして、光正寺 10 日、
1:36:23	黄砂という話とは別だということでアライから、
1:36:28	言ってますねそういうところの設定について明確になるようになっていうことでしたけど、これは 0.25 という値で設計していきますっていう考え方は示されてるんですけど、
1:36:42	実機がちゃんと半いいなっているかっていうのは何か確認はすぐするんですか。
1:37:08	はい、乳井西田でございます。
1:37:11	ちょっと私も以前どこで、どっかで書いてある注文しながらも、ここにもわからない。
1:37:22	次は、
1:37:27	ちょっと、ちょっと石原さんの音声
1:37:30	悪いよ。
1:37:33	. 25 っていうかモリ率を測定する際の検査というか、試験方法が確か設定されていて、それに基づいて、確認をしますと、
1:37:44	あれもしもあれコイケイマセでございますかありました。大丈夫ですか。
1:37:49	聞こえますかね。
1:37:52	はい大丈夫です今。はい。

1:37:54	このDS2の規格にですね、アノれ、漏れ率の測定の仕方みたいのが確か規定されていてそれに基づいて、確認をしますということなんですが、
1:38:07	私もどこかで説明した場合はあるんですけど、今回資料2とか資料3とか、資料4で一つの投票しないのはいかなものかという気もするので、ちょっと整理をします。はい。
1:38:19	はい。コサクでお願いします。
1:38:24	当然その使用地ちいだとかワー検査の方で扱っていくってことになるんですけど、こういった条件のところも
1:38:36	検査で必要になる部分があってですねその
1:38:40	扱いを明確にすることによって、ここは考査じゃなくて最終的にそ確認するので、その設定でやりますよ。
1:38:51	ということでわかるようになるということだと思いますので、よろしくお願いします。ちなみにこの漏れ率は使用。
1:38:58	今日に入れるんですっけ。
1:39:00	入れないんですか。はい。はい。日本イシダでございます。入っています入れますか。わかりました。
1:39:07	新井さんどうぞ。はい、ありがとうございます。
1:39:11	伴都築 248 ページ目、
1:39:16	右側の、
1:39:19	グローブボックス以外の例えばここで焼結炉で示されている、例示で示されているんですけども、
1:39:27	黄色いボックスを保守的に体積としますっていうところで、
1:39:33	それで右側に※で、直方体から外れる配管類の容積については、もう含まれますって書いていて、
1:39:43	それで
1:39:44	換気 01 の方見てみると、ここ、どういような大小関係で含まれるんだっていうところまでは書いていないので、しっかり配管の容積を出して、
1:39:55	比較して、
1:39:57	示すべきなのかなと思っていてですね、要するに左側のやつでいろいろ寛大なやつとかを、管内の配管の体積とかを出してるのになんでこっちは三つしかないのに何でさぼるんだっていうところもあり、
1:40:10	まずしっかりここは大小関係、設工認なので、示していただきたいと思うんですけどいかがですか。
1:40:22	はい。乳井ニシダでございますはい。
1:40:25	まず承知いたしましたはい。ポンチ絵で書いて※ウタてても、本当筧でございます。その根拠ということで、田井関戸関係性というのも含めて、整理をして補足の中でも展開をしたいと思いますはい。

1:40:39	はい。お願いします。
1:40:41	あとは、短期 01 に飛んでいただいでですね。
1:40:50	新しくこれ作っていただいて、
1:40:53	先ほどの、
1:40:54	受け皿ではパワーポイントでいろいろ他の代表以外のやつまとめてるって話あったんですけども、こっちで
1:41:02	換気設備についてはこっち代表以外のやつを、補足としてまとめてるっていう形なので、大分構成としてはいいのかなとは思っています。
1:41:11	それで先ほどの話の延長で、例えば 7 ページ目とかですかね。
1:41:19	7 ページ目に、
1:41:23	グローブボックスの附属機器で、例えば伸縮継ぎ手とか管台とか、あとはポートみたいなどの堆積も、容積に含みますっていうところなんですけども、
1:41:34	ほとんど小さいものについては、
1:41:40	無視できるので、
1:41:44	容積には大きく寄与しないので、
1:41:48	伸縮継ぎ手の容積を加算することで設定するって書いてあって無視してるんですよね。
1:41:56	なので一応ですね、
1:42:01	野瀬算出結果っていうのが、
1:42:06	書いてはあるんですけども、例えば 10 ページ目ですかね補足の
1:42:17	あるんですけども、
1:42:19	無視できる範囲と無視できない範囲っていうのをどのように定量的に分けてるのかっていうのを、説明いただきたいなと思っていて、例えば
1:42:30	最終的に算出する。
1:42:33	数字の有効数字に影響を与えるかどうかみたいな観点でやられてるのかなと思うんですけども、その考え方同じちょっと無視できるっていうふうに、補足で断言しちゃっているので、ちょっとそこを拡充いただきたいと思うんですがいかがですか。
1:42:55	はい。人間ニシダでございます。はい。まずは承知いたしました。おっしゃっていただいでるのは、10 ページいく等、新種、
1:43:06	継ぎ手の丸一番マネジメンが有責結局 1.091. 63 と。
1:43:12	その次のグループ大田 0.64 ということで、普通に考えればこれ小数点以下を切り上げれば、1 になって、品質再最初受けた変わらないように数字だと。
1:43:25	うちは 1 だよねと。

1:43:26	さすがにその次の 0.07 まで来ると、これは瀬古次長が何しようが、結果も変わる大きくし下回っているかなというのでそういった全体の整理をした考え方を書いた上で、全体数字どうするかも含めて整理をしていきます。はい。
1:43:43	すいません 5 ページ目の方が見やすかったですねそういう意味だと、附属品の種類と、容積については、
1:43:52	はいなので今おっしゃっていただいた通りの考え方で、無視できるものとできないものっていうのを分けて、明示いただければと思います。
1:44:05	コサクですすいません。
1:44:07	今のグローブボックスは実際の申請機器であって、構造とかも提示されるので、こういうような話ができると思うんですけど、
1:44:18	これのオオモトで
1:44:21	248 ページ。
1:44:35	ええ。
1:44:36	301 個に対して容積を乗じると。
1:44:43	いうことで
1:44:45	行って、
1:44:49	結局その同じ。
1:44:52	んなんですかね次回の申請機とかっていうのもあるのである程度枠取りをしていってるっていうことなのかなと。
1:45:01	思ってたんですけどまず認識合ってます。
1:45:05	入院中でございます。はい。枠取りという意味では合ってますけどそういう意味では、次の個別補足の 11 ページ以降にリストをつけてますけど、第 3 回も含めて全体、301 個分のリストになってます。はい。
1:45:20	はい。コサクですと一。最大だから内数になってるって最大のときに、厳密にやるっていう感じになっているんだとは思いつつも、
1:45:34	バク取りなんだったらもっと楽 2 枠取っちゃえばいいんじゃないって気もしたんですけど、なんでこう細くなるんですかね。
1:45:55	怖いな会議者でございます。今 16 ページのそうですね 100、177 番が 106、D、他のと大きく桁がみんな違ってこいつがチャンピオン、その上に 99. ドイますけど、
1:46:11	これに対して、例えば今のデータしても、さっきの 5 ページでいくと、1、加算されるぐらいですけど、さらにそれを上回る、
1:46:22	110 とかにしても別に何か困ることはなくて、全体のボリューム的には、
1:46:28	なんてこともないって話なので、そういった全体の風量との関係評価等の関係を含めて、どういう数字の取り方をするかはちょっと考える余地はあると思いますはい。



1:46:41	はい。
1:46:44	先ほど荒井からも有効数字で、評価にどれだけ意味があるのかっていうようなところを少し触れたのかなと思うんですけど。
1:46:54	設工認といえどもやっぱりある程度枠であって実際の施工時とか2その寸法のずれっていうのは、許容できるのかできないのかと。
1:47:05	いう議論が出てくると思うんですよ。現状の設計で数字があるから、一生懸命やってもですね。
1:47:12	じゃあそれ変えらんないのかっていう話になって、その数字根拠にすると変えられなくなっちゃうような議論が発生するんですよ。
1:47:21	なの今後誘導を持つようなところについては、枠で話ができるよう2教科でも扱っておいて、
1:47:31	評価に影響ありませんというような形での変更っていう方がですね、運用しやすいんじゃないかなっていうのが一般的に思ってることなので、
1:47:42	一つ一つ一生懸命やるのもいいんですけど、そういったところも考えながら、どういう評価が合理的かということでまとめていただいた方がいいかと思います。で、
1:47:53	その上で、その枠の中に本当に入ってますかっていうのをチェックするという形でまとめるのが一番、
1:48:01	後々対応しやすいと思ってますので、少し検討した結果、
1:48:06	はい、日本イシダでございますはい。承知いたしました。
1:48:14	はいさんどうぞ。はい。秋田アライです。
1:48:17	そしたら、共通12の方に戻っていただきまして、グローブボックスの容積関係については以上ですけども、
1:48:27	250ページ目をお願いします。
1:48:32	250ページ目で、工程室と建屋の換気風量の話が出てきているんですけども、
1:48:40	最初のポツの最初の業務の中に、
1:48:44	機密性の扉を設定しますっていうふうに書いてありまして、
1:48:49	ここの気密性能の扉の話っていうのは、
1:48:54	資料3の中で、
1:48:57	どのような構造かとかっていうのって、示されていたんですけど。
1:49:10	例えば、三級相当するものはこういうものですか、
1:49:17	防火シャッターとかいろいろ連続部の気密性みたいなみたいな気がするんですけども、それはそうですね、イシダでございます3時間耐火とかの境界になるような、扉とかは、試験結果との関係も含めて、
1:49:33	構造を示してましたけど、通常の一般的な建具みたいなものになる扉は、特に形状も含めて具体的なものは、第1回出してません。

1:49:43	普通に、
1:49:46	それに変わってくるのって言い方おかしいですけど、こういった等級に応じたものを、下へつけるということであまり具体的な構造までをお示しする対象には思ってませんでした。
1:49:59	はい。
1:49:59	そういう意味だと。
1:50:02	先ほどの 0.25 にも似てるような話になると思うんですけども、
1:50:08	例えばAさんとか、4 とかAとかってあると思うんですけども、
1:50:13	それぞれの、
1:50:14	結局、
1:50:16	構造で担保するのか、それとも何で担保するのかっていうのが、
1:50:21	わからなくてですね、どういう考え方をすればいい、いいんですかねその辺は、
1:50:30	使いますっていう宣言だけなの。
1:50:36	ですかね。
1:50:40	そうですね。
1:50:43	結局、
1:50:47	でもあれですね。
1:50:52	購入上担保がないんだよ。
1:50:54	排気筒の扉にみんな各等級、
1:50:59	麻生、
1:51:00	ベップは、
1:51:13	これどっかで持ってきたかわかんないんだ。
1:51:16	復旧、
1:51:20	えっと、
1:51:22	設工認上クローズしてますかってこと。
1:51:26	人間にイセようでございます。ちょっと、どこでどう示すか、考えます。設工認上も評価でいきなり出てくるっていうのもおかしい話なのでちょっと
1:51:38	全体の考え方を整理しますはい。
1:51:42	はい。
1:51:44	規制庁の荒井です。それで似たような話で 251 ページ目で、
1:51:50	これもJISに基づく評価のやり方なんですけど、
1:51:55	もう 2、つなげるパラメーターとして 20 パスカルの圧力差ってあるじゃないですか。
1:52:02	これが負圧順序逆転、負圧順序の逆転を防止するために、十分な数字であるかっていうのってどこで説明するんですか。

1:52:35	はい、乳井瀬谷でございますちょっとここもどういう考え方でしたのかっていう、
1:52:41	考え方としては、先行施設の実績で、負圧逆転が起こらないようにするためにどれだけ差圧を設ければいいかと、いうことをもとに、20 バスからあればということで設定をしています。
1:52:54	ので、そういった考え方をここに記載をさせていただければと思います。はい。はい。
1:53:01	ちょっとその理由を、根拠を示していただきたいなっていうのと、
1:53:06	あと後、このページの中で、Cポツの扉の面積を計算するにあたっては、
1:53:13	JISを踏まえてって書いてあって、内のり寸法によって求めますって言うんですけども、先ほどの漏液受け皿とかグローブボックスの容積と同じような形で、
1:53:27	数字の取り扱いとか、
1:53:29	うちの寸法をどういうふうに求めているのか。
1:53:33	ていうところの例示なり、
1:53:36	算出過程っていうのがここは必要なのかなとは思っています。
1:53:41	あとは、
1:53:43	この後のページになってみないとわかんないんですけども、
1:53:47	グローブボックスの容積については代表を選んでそれを評価に使っていたと。
1:53:55	いるんですけども、今回のこの建具の面積っていうのは、個別にやってるんですね。
1:54:02	個別にやる理由っていうのはそれぞれの扉ごとに面積を出して、やりますっていうのは、
1:54:10	どういう理由なんですか。
1:54:13	一つ。
1:54:15	おっきいやつでやってしまった方が、楽なのかなと思ったんですけども。
1:54:26	はい。与儀イセでございます 257 ページとかですかね見ていただくと、端的に申しますと、
1:54:35	キャンペーンっていえるものがいなかったってだけかなと思います似たような寸法、
1:54:42	3. 15 と 5.7 がいるんでこれ簡単でもいいかなという気はしますけどあまり桁違いのチャンピオンになる人がいなかったということで、1 個ずつやったということだと思んですけど、これも
1:54:55	何が担保条件かなんd結局、ここでいう 3.95 と 5.7 をさらに、
1:55:03	何らか

1:55:05	上乘せして上乘せしたら大変なことになるかな。
1:55:09	全体同じ数字でありますよっていうのも、やり方としては全然やりな、結局そんな細かい担保取ってるわけじゃないので、ちょっと整理をします。はい。はい。
1:55:19	要するに別に個別にやってもいいとは思っているんですけども、先ほど容積の話についてはチャンピオン選べますっていうのが、前段の文の方で読めていたんですけども、
1:55:31	こっちについてはいきなり、
1:55:33	もう個別にやりますっていうのが、あんまり書いてなくてですね、下を進んでみないと算出の
1:55:40	入口の評価のやり方っていうのがわからないっていうところが、
1:55:45	ちょっと懸念していた部分だったのでよ、容積と違うっていうところだったので、ちょっとその整理をお願いしたいと思っています。
1:56:00	はい、日本イシダでございますはい。まずは一つはあれですねグローブボックスと建物を、
1:56:08	工程数と、ちゃんとお湯が書いてあることがちゃんと横並びが図れるように、必要な記載をするということあとは、それぞれで足りないところがあるので、それをちゃんと拡充しながらさらに横並びを図って、
1:56:21	必要な情報を出していくということで整理をさせていただければと思いますはい。はい、お願いします。
1:56:27	宗。
1:56:28	私からは、次で最後になるんですけども、ちょっと用意いただいた補足と合わせてなんですけど、252 ページ目で、
1:56:40	(2)の開口部面積。
1:56:43	の方で、
1:56:45	3 パラグラフ目にオープンポートボックスの開口部の話が出ているんですけども、
1:56:52	前回のヒアリングを受けて、
1:56:55	オープンポートボックスの開口部の数の、
1:57:00	管設定の考え方って何なんだっけっていうところをしっかりと書いて欲しいなと思っていたんですけども、
1:57:06	郡作業において同時に開放し得るって書いてあるんですけど、
1:57:11	結局はいろんな想定される作業の中で一番開ける、
1:57:18	数が多くなる作業に照らして、
1:57:21	開口面積雄計上するっていう考え方でいいんですよね。
1:57:33	はい。日本原燃伊勢でございます答えとしてはまずイエスですはい。はい。

1:57:38	なので、その考え方を(2)に、
1:57:42	しっかり、
1:57:43	パラグラフの中に書いていただいて、
1:57:46	続いて補足の閉じ込め 02 の方なんですけど、
1:57:58	閉じ込め 02 の方についてはヒアリングを受けていろいろ作業パターンを書いていただいたと思っていますけども、
1:58:07	やっぱり今のような趣旨をですね、
1:58:12	概要っていうか計算の
1:58:17	何を示したいかっていうところで、多分評価につなげる話なのかなと。
1:58:23	思うんですけども、
1:58:25	本文で指摘した旨をちょっと表現いただきたいなと思っております。
1:58:32	うん。
1:58:33	ちょっと、
1:58:35	はい。二本木石澤でございます。はい。まず承知いたしました。閉じ込め 02 でいくと冒頭、資料 3 だったり資料 4 と日計がまだ弱いなど。
1:58:48	いうところをお話したと思いますけど今 3 ページにポツの頭にいきなり必要な等々数を整理すると書いてますけどその制限をするときの考え方も何なりというか全体の
1:59:02	を見渡した、共通の考え方みたいに迎えた上で、個別のポートボックスの説明に入るといったような記載の拡充と工夫をしていければと思います。はい。はい。
1:59:16	はい。お願いします。
1:59:18	それで、あと
1:59:21	この 3 ページ目の 2 ポツの 2.1 の成形施設のところから、
1:59:26	いろいろな作業パターンと、開口部の、
1:59:30	どのように開けるのかっていうのは書いてあるんですけども、
1:59:33	第 3 回申請対象っていうのは、
1:59:37	本補足説明資料で説明しなければいけない理由っていうのを、
1:59:43	概要か、1 ポツか 2 ポツか。
1:59:47	どっちかわからないですけども、明示いただきたいと思うんですけどいかがですか。
1:59:54	はい。日本原燃志田でございますまず承知いたしましたはい。今おっしゃっていただいて第 3 回のを別途示しますと言ってる、補足と。
2:00:04	3 回も含めて書いてる補足で出てきますので、第 3 回も併せて書いてるものは、全評価なり設計の前提としてそういったものも含めて自衛隊への

2:00:17	整理をしていかないといけないからここに書くだということも含めて前提の記載をさせていただければと思いますはい。はい。
2:00:24	お願いします。
2:00:26	あとはちょっとこの内容の中で、少し気になるのが、4 ページ目以降で、
2:00:34	どの施設においても、
2:00:36	保守作業等っていうのが出てくるんですね例えば 4 ページ目だと、C ポツの両括弧Bとかで、
2:00:44	示してあるんですけども、保守作業に必要な、
2:00:49	開口が必要な、
2:00:52	数っていうのが、実はちゃんと書いていなくてですね、他の作業にを踏まえて、同じ数を上げるしか書いていないので、
2:01:02	最低限開放する数ですね。
2:01:06	内装機器の保守作業等の際に、
2:01:10	最低限開放する必要がある数っていうのとその考え方を記載した上で、他の作業と同じように、
2:01:20	結局は開けられますのでそっちと同じようにしますっていう考え方に書けないですかね。
2:01:35	はい。日本原燃石田でございます。まずはちょっと書き方を考えます。おっしゃっていただいてまず補修作業ってどんなことをやるかも。
2:01:48	全部を書き出すっていうのも辛かったので、今、ぱくつと書いた結果わかりづらくなっていると思います。
2:01:54	ここをポンッとポートボックスに至っては、どちらかという何人で作業するかっていうのが、結局ポートの数に効いてくるのかなと思ってまして。
2:02:05	両側から 1 人 1 人で 2 人で採用する必然的に 4 個アップということかなと思いますそれがナカの機能メンテナンスとして、
2:02:16	最大っていうんすかね。
2:02:18	1 人作業であれば、上の(イ)みたいに、2 個ですということで、そういう考え方で、2 人で作業するとして、考えたときには、4 行になりますよということを書いてるつもりなんですけど、そういったことも含めて全体のこの記載を、
2:02:35	拡充するというので整理をさせていただければと思います。
2:02:39	はい。
2:02:40	そう。そうなんですよね。結局
2:02:44	例えば
2:02:46	13 ページ目の、
2:02:49	ウラン粉末払い出し遡上分ポートボックスなんかは、
2:02:54	多分他のオートオープンポートボックスとは違って、

2:02:58	ポート数 1 人、
2:03:00	一つしかも一つの穴しか使えませんとか、
2:03:04	書いてあったと思うので、そういった作業に照らして保守性、
2:03:09	補修作業っていうのもどうするのかっていうのは、ちょっと書き方が変わってくるっていうところもありますので、
2:03:16	もう少しですね、保守作業等で、
2:03:18	必要な、
2:03:20	開講数って何なんだっけっていうところを、
2:03:23	示した上で、結局他のやつと同じにしますみたいな、そういう、
2:03:29	書き方ができるのではないかなと思いますので、よろしく願います。
2:03:37	はい、与儀瀬谷でございます承知いたしました。
2:03:42	コサクです。今のはなCワー
2:03:47	もうここに書いていくのは書いていただければいいんですけど、それを先ほど
2:03:55	言われたところと言うと補足説明資料だとまず 2 ポツのところ、単純に作業に必要なポート以下とか、
2:04:04	制限とかじゃなくて、そういう作業状況を踏まえてこう設定しますっていうふうに言われる。
2:04:12	のじゃないかなと思ってますけど、いいですか。
2:04:17	はい、日本イシダでございます。はい。この不際必要な作業に必要なだという通常運転時の作業ってそもそもどんなものがあるってということも共通的な考え方ですね。
2:04:28	その時必要空けることが必要なポート数っていうのはどういう考え方に基づくのかという業的な考えを書いた上で、下につなげるということで整理していければと思ってました。
2:04:41	はい、古作です願いますそれで、補足はそうなんですけど。
2:04:47	この元となるところはどこっていうことで言うと、
2:04:54	資料 3、共通 12 の資料 3 だったり 4 だったり、
2:04:59	さらに言えば、添付書類、
2:05:02	の説明書ということになりと、
2:05:05	いうことなんですけど。
2:05:07	そこら辺はどうお考えになってます。
2:05:12	はい、与儀西浦でございますまず、資料 3 は、おっしゃっていただいたように
2:05:19	資料 3 上はオープンポートボックスの開口部、
2:05:23	風速を 0.5 メーター/secに

2:05:27	維持するということが基本設計方針から展開をされていて、そこに対して、冒頭が開口する数をですね決めないといけないということを展開をして資料3上は書いていると。
2:05:40	ということです。そこの一連の流れ
2:05:45	をどうひもづけているかということの整理を今の話とあわせてしていかないといけないというのと、
2:05:51	あとは仕様表との関係もありますし、資料4条の条件としての関係ですね、ちょっと全体見て、どういう役割分担でどういう紐づけで、変えていくのかと。
2:06:03	いうことを整理をしたいと思います。
2:06:21	聞こえてないですかね。
2:06:25	あ、ごめんなさい、古作です。
2:06:31	資料3はちょっと難しいかなと思うんですけど、オオモトで言えば、何でポートを作るのっていう。
2:06:40	ほとんど。
2:06:41	になると思うんですよっていうここ、先ほどの補足の言われてた、
2:06:51	(エ)だったり括弧Bだったりといったところで納アノ作業。
2:06:56	をするために必要なんだと。
2:06:59	いうことだと思いますので、そういったことができるように設置してますよと。
2:07:05	いう。
2:07:06	ことがまずあり、それって、てなると、どういう作業っていうのがある程度話があってっていうぐらいはあっていいんじゃないかなと思います。で、その上で
2:07:18	その作業がどういうものだから
2:07:23	資料4の方での評価では新名李さんなりは呼んだりと、
2:07:27	というようなところで設定しますよと繋がればいいと思いますので、よろしくお願いします。で、
2:07:35	今言った資料4で書くような話っていうのは少なくとも添付書類の評価の中で
2:07:42	条件設定で説明されると。
2:07:45	いうことで考えておりますので
2:07:50	引き続き精査をしていただければと思いますがよろしいですか。
2:07:54	はい。乳井インダでございます。はい。承知いたしました。はい。
2:08:02	補足です。あと、
2:08:05	幾つかあるんですけど、
2:08:12	今の冒頭な話だったんですけど先ほど工程室、



2:08:17	なりの話でとピラーの寸法だ云々という話が、
2:08:22	或いはその差圧としての 20%だったりって話があったんですけど、
2:08:27	これもどういう意図で、どういう評価をしていくんだっていうのがちょっとよくわからなくてですね。
2:08:35	結果
2:08:39	中央値をとるのか、大きいのを取るのか小さいのとるのか、っていうのをイメージが沸かなかったんですけど、
2:08:46	えっと、
2:08:49	んだ、どう考えればいいのかなと。
2:08:52	いうので
2:08:54	通気量についてはちょっと整理をするということだったと思うんですけど、それもその意味合いによってっていうことがあったりするんですが、ちょっともう一度説明いただけますか。
2:09:05	はい。乳井ニシダでございますはい。先ほどあった。
2:09:11	寸法も含めて、15 ページ 16 ページですかね、に並べて書いてありますけどこれ全体見て、
2:09:22	それぞれの数値をどこまで 20 頭に整理をする必要があるのかということだという認識をしました。今ひとつは、東京ごとに水量変えたり、あとは寸法を個別に変えたりと、
2:09:38	ここまで細かいことをやる必要があるのか、もう、ある種、
2:09:43	通気量を、
2:09:45	保守側にあるのはミドルとか、
2:09:48	2 に全部してやる。
2:09:52	厳しいんだろうな。
2:09:55	もたないって言われそうだな。あと梨夢、寸法、個別にやってますけど、これってそんなに細かくやらなきゃいけないのかと、何を守りたいかによってそのレベル感との関係で、
2:10:09	どう整理するかということだと思ってましたので先ほどの回答をちょっと曖昧でしたけど、全体まとめて、代表でやるという考え方ができるかどうかと。
2:10:22	いうのも含めて整理をさせていただきたいということで話してました。はい。
2:10:28	とコサクです。
2:10:31	整理をしてもらってからでもいいかなとは思ってますけど。
2:10:41	特に差圧数の設定でですね、逆転を防止するっていうことで逆転がいかに悪いような言い方をしてるんですけど、
2:10:53	逆転して何が悪いのという。

2:10:58	ような気もしててですね、先行施設でって言いますけど、再処理施設では逆転なんてちょろちょろ起こしてるわけですよ。瞬間ですね。はい。
2:11:08	でもそれってそんなに問題になってますっていう。
2:11:13	いうふうな漏えいとしてですね、閉じ込めとして問題になってますっていうと、実際の漏えいを起こしてないわけで、
2:11:23	どの程度のことをやるのかっていう、目的というか、
2:11:29	発生の状態っていうのが誤解をされないようにまずする必要があって、そのためにもこの
2:11:36	前段でちゃんとが概要的にですね、
2:11:40	負圧ってなんだっていうようなことは語っていただいた方がいいかなと思うんですけど、その上で、ここはあくまで換気風量を、
2:11:52	少しコンサバに見積もっていくというために設定をする。結果そのためには、差圧をちょっと大きめに置いとくということ。
2:12:04	なんだろうなとは思うんですけど、そこら辺の意味合いをちゃんと教えてください。
2:12:12	はい、日本イシダでございますはい。まず、逆転の件はおっしゃる通りですね。はい。ここは段階的に久我Ⅱを設定をすると。
2:12:24	いうこと。それに対してどのぐらいのサブ的にいいのかということだけなので、そこに対してどういう数字を使うかというのは全体の評価の中での位置付けとの関係で整理をしていければと思います。はい。
2:12:39	はい。補足です。もう1点ですねちょっと大きな話になるんですけど、
2:12:45	そういった条件設定のもとで必要な風量っていうことにはなりますが、
2:12:53	それなりに各パラメータのところでも保守的に扱ってですね、実際が一量なり差圧なりっていうのとは違って来るわけですよ。
2:13:07	そうした時に、
2:13:11	逆にその評価とのずれD、
2:13:16	誤解を招くとかですね、或いは変なところで問題を起こすというようなことがないかっていうのが新
2:13:23	場合なんですけど。
2:13:25	そのあたりは、
2:13:27	どう手当していけばいいかなって何か考えありますか。
2:13:33	はい。弓削ニシダでございますこれまずうん。
2:13:39	説明の、
2:13:41	仕方をこうしたのも、全体がわからないまま、個別の話をしている時点でよくないのかもしれないですが、
2:13:49	実際最終的には先ほどあった六つの市から最大になる

2:13:58	数字をですね、各グローブボックスなりに割り当てて、系統構成した後に配布しまして、ちょらんパート鍛冶調整をしていって必要な無料にすると。
2:14:11	その時におっしゃっていただいている通り、例えば、先ほど 244 軸と、
2:14:17	Cはべらぼう 2、
2:14:20	イシイの。
2:14:21	何でしょう。重要度が大きくて、使用基準に決めた時 2 制が、
2:14:27	さっきの 301 個の中で一番最大のやつをやりますっていう、非常に超保守的なやり方をしていると、それが全体のバランスに与える影響っていうのがあるんじゃないのかと。
2:14:38	いうことはよく見ないといけないかなと思います、実際は、清がメインになるって、
2:14:45	あんまりないんというのがまず私の認識の前提でこと語ってますけど、そういうことだっということも含めて全体のシナリオをどう考えてるかっていうの説明を、
2:14:56	しないまま、風圧だけを取り上げて説明してるところがちょっといまいち感はある気はします。はい。
2:15:08	はい。イマイは少なくともですね今言われたように、
2:15:16	ここです。
2:15:17	出てきた必要というのが本当の必要なのではなくて、
2:15:24	排風機の設定どういう状況でも、その耐えられるという大きめの数字を出す。
2:15:33	上でのパラメーターだと。
2:15:35	いうことであって実際に必要なものっていうのは先ほど言われたようなところで実機で調整していくんだと。
2:15:45	いうことはちゃんと整理をしといた方がいいと思うん
2:15:50	ですね。今、書いてあります。書いてないです。渡部さんとそんな会話をした記憶があるんですけど、よく考えて書いてないですね。はい。ちょっと記載を、
2:16:02	整理して、どっかでしなかった
2:16:06	資料 3 のね。
2:16:09	それを、評価結果の中での合わせ技でも書いておけばいいんじゃない。
2:16:16	女性最終的なこういう評価結果だけでも結局個別の風流は、そういう調整ダンパで最終的には系統構成して、調整していますよって言ったらいんだよね。はい。日本インダでございます承知いたします。

2:16:30	はい、草木もちよつと書いてもらいたいですけど、基本はまず最初です ですね、今 244 ページ書き込みすぎですけど、これを 2 分割どころか 3 分割 4 分割でもいいので、
2:16:44	整理していただいて、その中でしっかりと実態と評価とつていうものを関 係性をわかるようにして、
2:16:55	実際はこうだけど評価ではバツバツこういうふうに行っていきますよ。だ から、今回は
2:17:03	これとこれであとでこれとこれをやればいいんですよ。
2:17:07	というようなことがわかればなあというふうに思います。
2:17:12	はい、弓削西尾でございます承知いたしました。
2:17:17	古作です。
2:17:20	今、風量で話しましたが、評価全般にわたってですね、この評価では こっちの大きめの設定でいいよとかっていうのはあるんですけど、
2:17:32	違う観点での評価では逆方面で見なきゃいけないとかっていうのがあつ たりしたときに、こっちとこっちで違うじゃないかとかですね、逆にこの設 定にして、悪影響が出ることはないかとか、
2:17:47	という懸念が、
2:17:49	得ることがあるので、そう言ったことについても常に意識をしながら対応 いただければと思います。今の
2:17:58	大きなポイントとして、事前に言っておくということであると思うんですけ ど、
2:18:04	はい、日本イシハラでございます承知いたしました。そうですね。同じよ うな数字というか物を取ってくるの 2、評価によってとり方が違うと。
2:18:15	何と話がよくわからなくなるので、そういったことも含めて全体ちゃんとケ アをしていくということで認識をしました。
2:18:30	長田です。以上です。
2:18:33	はい。
2:18:35	そしたら換気設備に換気風量について他、規制庁から確認等ございま すでしょうか。
2:18:50	はい、では続いて設定根拠のほうですかね、搬送設備の方の説明をお 願ひいたします。
2:19:00	楽です。
2:19:03	時間が大分過ぎているかなっていう気がするんですけど、
2:19:08	そうですね。
2:19:11	休憩をここで挟んで、
2:19:15	16 時から、
2:19:17	再スタートという形で、

2:19:21	日本原燃それで大丈夫ですかね。
2:19:24	大丈夫です。はい。
2:19:26	じゃあ、とりあえず一旦録音停止し、
0:00:00	しました。
0:00:01	規制庁の藤原です。それでは、都築都築、先ほどの、
0:00:06	と、
0:00:08	搬送、搬送から始めたいと思います。
0:00:11	次お願いします。
0:00:15	はい
0:00:18	評価パターンの(2)ですね、具体は260ページからが、搬送設備の必要容量1ヶ月、設定根拠と、
0:00:29	いうことでございます。はい。
0:00:31	で、260ページ以降概要から順に始まっておりまして、263ページ、前回からのやりとりを踏まえて修正ということで、
0:00:45	搬送0inchの永代搬送設備の対象物をどうするかという考え方との整合という意味での修正というのが、2段落目の修正でございます。
0:00:58	はい。あとは、263ページの注意注記で、搬送設備の選定の考え方は総勢の位置と、
0:01:07	にて説明するというリンクージュを図っていると。
0:01:10	いうことでございます。
0:01:13	はい。あとは言葉遣いの修正をさせていただいたということでございますが、
0:01:20	大変恐縮でございます
0:01:24	これも先ほどのとじ込みとして添付の位置付けどうするかっていうのは整理をしますが、
0:01:32	267ページからある、添付の表ですけども、
0:01:38	この中で幾つか、すいません間違いがございまして、
0:01:43	一番大きなのは、
0:01:48	協同設備書状施設の中の1設備が丸々抜けてまして、ペレット保管容器入手装置というのが、本来、表で言うと、
0:01:59	286ページにいないといけないところが丸々抜けてますので、
0:02:05	これは足させていただきますということがまず予定です。
0:02:11	加えて278ページのところで、
0:02:16	下から三つ目梱包天井クレーン、重量が31120となっておりますけどこれが3114での間違いであったりということで幾つか
0:02:29	これ正しい値は、搬送ゼロイチ側の表には載ってますけども、音の不整合ということで、この今

0:02:39	現状、梱包天井クレーン以下三つ丸ター番最後の重量の数字が間違っていると、いうことでございます。
0:02:48	あと 280 ページ、この分類を①から③に振ってますけども上の焼結洞道入手コウ装置-2 と書いてるものこれ②番と書いてますが③番の間違いです。
0:03:00	ということだったりということですので、
0:03:07	ということを加えて番号付けの間違いという意味で、287 ページ。
0:03:13	ウラン燃料募集用装置、取り出し機から挿入期まで分類が③番になってますがこれ全部丸 2 番と、
0:03:24	間違いでございますが、
0:03:26	はい。
0:03:27	搬送の資料 4 側は、今お話したような修正をしまして、D1 の後の搬送 0 一井。
0:03:38	これはちょっと全体的に、前回に取りも含めて整理をさせていただいたところでございます。
0:03:48	搬送元の 1 ミギタ 4 ページにある 2.1 のところの搬送物の搬送設備の整理ということで、
0:03:55	一つは、安全機能への影響ということを考えて、搬送設備の選定をするということと、次の段落に書いてある許可整合という観点から、
0:04:10	16 条として考慮すべき事項を抽出するということで整理をさせていただきました。
0:04:15	2.2、2.1. 1 が、安全機能との関係安全機能への影響を考えて、搬送設備として考慮すべき事項を、設備をどうするかということを考えるということの整理でございます。
0:04:29	こちらすみません、詰まる動きがございまして 4 ページの 2.11 の (2) のなお書きのところの括弧書きで、を除くと書いてますが、
0:04:40	を除くがいないということで、MOXとウラン濃縮ウランが対象だと。
0:04:45	いうことでございます。
0:04:47	で、5 ページ目の 2.1. 2 で、許可整合ということで、強化基準規則には、搬送設備ということにはございませんが、
0:04:58	許可での約束事項を漏れなく展開するという意味で、放射性物質の移動に対する考慮と、
0:05:04	いうところでのを示している内容について 16 条として考慮すべき事項が何かということ抽出をしたということでございます。
0:05:14	はい。そういったことを踏まえた上で

0:05:19	8 ページに、は、第 16 条の対象とする搬送設備って何かということ整理をしたということでございます。
0:05:28	フローとしては 9 ページにあるんで、16 条で扱うものは 16 条で、対象とすると、いうことを書いてございます。
0:05:38	例えばですけど母体のMOX密封線源ADU混合酸化物容器、集合体であったりというものは、搬送設備については 16 条搬送設備必要な容量落下防止対策。
0:05:52	等を展開をするということで書いてあるということでございます。
0:05:57	はい。
0:06:00	さらにそれぞれここで対象とするといったものの具体的な設備に対して、どういった落下防止対策等を講じるかということについて、
0:06:10	10 ページから整理をしているということでございます。こちらは特に整理は追加分修正はおりません。
0:06:28	4 ポツのところでは先ほど、対象外、16 条対象ということが
0:06:37	必要なコウ令とあれど流力所ナカ増率と搬送設備とはしないとした劣化ウランとかの対象についても、どういった対策を講じているかという設計上の考慮を
0:06:48	整理をさせていただいたということでございます。
0:06:52	38 ページに、レッカーの移動する設備の落下防止対策ということと同じような先ほど表が見てますが、こちらは先ほどその前に挙げている設備と設備の数が違うところは第 2 回の申請対象に絞って整理をさせていただいたところのの違いでございます。
0:07:10	あとは、必要な容量の評価の条件設定として最大荷重の考え方というのを、
0:07:21	41 ページ以降に整理をしてございます。
0:07:24	これ、この評議会、
0:07:31	この表自体で量の内訳を書いておまして具体的には 44 ページからですかね。
0:07:41	病気の重量と内容物ということの、それぞれの内訳を書いて、合算した重量がな、合格ということを書いてます。
0:07:51	ちょっと登場人物の順番が若干非常に見づらくなってますけども、これの順番はですね、
0:08:00	資料 4 の搬送で出てくる、先ほどあったすみません誤記であったりした、添付の
0:08:07	287 ページからの取り扱う搬送物で、てくる順番で、

0:08:15	書いておるところでございます例えば 44、個別補足の 44 ページでいくとトップ落下ペレットが料金なってますけども、先ほどの 267 ページに行くと、ペイとか容器が一番トップばかりとこの順番で、
0:08:29	整理をさせていただいています。
0:08:32	ただ同じものが複数出てきますんで最初に出てくるものを対象に順番を整理していると。
0:08:39	そういう意味で燃料棒がですね、日本のものを八本のもの 16 本のものっていうのが非常に離れて書いてますけど、先ほどご説明した順番で書いている結果でございます。
0:08:52	この 44 ページ先ほど申し上げた 200、資料 4 の 267 ページ以降の表とのリンケージがとれてるんですけども、
0:09:00	感想ボードを
0:09:04	急行運ぶときっていうのが、267 ページの下から 3 番目にありますけどこれが完全に抜けてございます。はい。そういったところもちよつと動きがございまして修正をさせていただこうと思います。
0:09:19	あと 48 ページ以降には許可で言って先ほどの、核燃料物質の移動をに対する考慮と言っていたこと、今回展開として、
0:09:31	16 条に展開するものを、あとそれ以外のものはどの条文ひもづけるかということの整理をさせていただいたものを、をつけさせていただいているということでございます。
0:09:42	説明は以上になります。
0:09:46	はい、説明どうもありがとうございました。
0:09:48	そしたらですね補足についても説明いただいたと思いますので、そこも併せて確認していければいいなと思っております。
0:09:59	それでは
0:10:00	259 ページですかね、共通 12 で言うと、
0:10:08	特段共通中に、本体の方については、修正はほとんどないような状況ですけども、規制庁側から確認等ありますでしょうか。
0:10:22	規制庁岡です。じゃあ、幾つか確認させていただきます。まず 262 ページ目の、
0:10:31	1 ポツ概要の一行目、
0:10:34	ここ落下防止対策のみが唐突に出てきていてこれが全体にわたって落下防止対策っていうふうに表示しているところが多いんですが、
0:10:44	一方で整理の方では落下防止対策以外にも一層は、
0:10:48	一層とか検討とか、いろいろな防止対策がある中で、落下防止対策っていう表現は、全体の中でどういうふうに使われてるのかっていうのをまずうかがわせていただければいいですか。



0:11:13	入れてるわけ。
0:11:15	日本インダでございますちょっと資料3との関係も含めて全体整理をします。今おっしゃっていただいているように個別補足でいくと落下防止対策等って書いてたり、
0:11:25	落下防止対策と、単品で書いてありますので言葉遣い全体整理をさせていただきます。
0:11:32	はい。規制庁甲斐ですわかりました。おそらく落下防止対策等というふうに進めてき。
0:11:38	で、ここでいきなり落下物対策になって
0:11:42	伴曾我も結構ばらつきがあったりしていたので、何か統一的な表現で考えれば落下防止対策等の方が、
0:11:50	合ってるんだらうなと思いながら、また整理のほどよろしく願います。で、この一行目が、ちょっとその次のところからよくわかんなくてですね。
0:12:00	必要な容量が定格荷重というふうに整理して、そして取り扱う最大の重量以上の定格荷重を有する設計とするっていうのは何かイコールで結んでる。
0:12:11	ように見えないんですが、
0:12:14	区切り方というか読み方は見えるかもしれませんが何を表現したいんでしょうか。
0:12:23	はいそうですね。オギニシダでございます。まず日本語としては、必要な容量として間まで1回切れるんでしょうね、これをつなげると。最後は定格荷重という、いう設計で繋がっちゃうので、要望としては、
0:12:39	おかしな話になるかと思えます。はい。
0:12:44	おっしゃっていただいたように、単純にやりたいのは、取り扱う最大の重量を大賀に対して定格荷重がそれを上回っているということを、設計としてはやりたいと、いうことでございます。
0:12:57	はい、規制庁加賀です。だから設定根拠として説明すべきものは、最大荷重以下の重量物を搬送しますっていうことを、根拠として全部示していきますっていうことが、
0:13:09	ここで表現されればいいと思っていますので、はい。わかるように書いてくださいというところでした。
0:13:17	この絵に切りインダでございます。はい、承知いたしました。
0:13:21	成長がですちょっと搬送011が後にして共通。
0:13:27	10右側少し付けて確認なんですけど264ページ目。
0:13:33	の3ポツの、
0:13:35	この①から④の表現もちょっと、

0:13:40	何かわからなくてというわかるんですけど、
0:13:45	どこから持ってきた表現なんでしょうか
0:13:51	例えば単独の容器等の棒ってというのは、何が含まれるかっていうのが、何かあるんでしょうか。
0:14:05	はい、日本インダでございます。まずはちょっと整理をしないとイケないと認識をしました資料3では、内容物と容器Eの組み合わせ。
0:14:20	獵期プラス事業を組み合わせるかといったようなパターンを確か資料3-01だったかなとか丸2で書いていたので、それとのリンケージを図るということの整理をまずちゃんとしたいと思います。
0:14:32	加えて、内容物に対する内容じゃないな内容物に加えて容器の取り扱いを、容器単独のものをよう複数の要求を取り扱うものと、
0:14:44	差別化して整理するのかどうかということかなと思いました。はい。
0:14:49	はい。ちょっと、それであれば入って0。
0:14:54	4は、
0:14:56	これ。
0:14:57	もう核燃料物質以外のものを、同じ麻生設備で運ぶときに、
0:15:03	搬送物がある場合ってということなんです。
0:15:11	はい。そうですね。はい。
0:15:14	やはり成長からです。それで、資料3で確認している時はしゃべったらこれに該当するってことです。はい。結局シャイブタン以外は、
0:15:24	全体を策定して、こういうものをするなり、
0:15:27	ていう結果ですか。はい。ありません。アノサエグサだけですか。はい。はい、わかりました。
0:15:35	273 ページ、失礼。
0:15:45	法政容器って何。
0:15:47	じゃ、
0:15:48	行政、
0:15:53	規制庁、はい。はい。はい。
0:16:00	があるので、そこも含めてはい。対象物で特定したいと思います。はい。はい、わかりました。あと、273 ページ目とかから、
0:16:12	ペレット武漢容器等規格のF-net保管容器を扱うようなものとか、
0:16:18	出てくるんですが、企画のレベルと保管容器と等価容器が重さの違いってこれ何から来てるかわかりますし、
0:16:27	これ。はい。まず、ペレット他容器。
0:16:32	の方は、何ていうんでしょう、製品用のペレットですので、浪板取れって言ってトレーにペレットを乗せてそれを重ねて運ぶということになります。

0:16:44	規格外の方は、表現難しいです規格外ですので、そういったミイタゾエと 言えばタダノボックスに、規格外のペレットを入れて、収納すると。
0:16:57	というような違いはありますので全体的に取り扱っているボリューム下も 違いますし、取り扱い方も違うので重量に差が出てくるということでござ います。はい、わかりました。だから臨界評価なんかもこれ、
0:17:11	全然違っていてだからこそ、少なくなってるってということですかね。
0:17:19	日本原燃石田でございませう中に入った後に別の場はされた一緒なんで すけど、
0:17:26	イソダ、
0:17:29	案、そんなにランドスギタ。
0:17:34	ユニットとしてはボックスの評価は、結局はですね。
0:17:38	はいちょっとその辺は整理しておきますはい。うん。はい。理解はし、あ と 279 ページ目のところにある、
0:17:51	これも似たような話なんですけど焼結炉ごとと一番下のですね、
0:17:58	凍結ボードとスクラップ焼結ボード等選考試験焼結ボードもうちょっと重 さが違ってこれもう、
0:18:05	何でかなと思ったんですが、これはどういう理由なんですか。
0:18:18	はい、日本イソダでございませうさっきの企画がスクラップの方は規格外 と同じような扱いですね、あるボックスになっているというイメージ、あと は償却ボードの方は、どちらかというオペレートスペースで、
0:18:33	あるボードに乗せて、
0:18:36	並べている状態なのかな。それが段差が何か積み上がってる状態にな ってます。はい。
0:18:42	はい。衛藤区です。ナカの形状が違うって言ってんで、幸いということ です。
0:18:51	あと、
0:18:53	乾燥 015 でいろいろ確認する中で、共通 12 側にフィードバックすると思 いますんで搬送する市側で確認させていただきます。
0:19:02	まずて、
0:19:07	すいませんコサクです。
0:19:09	ちょっとオオモトとしてよくわからなくなったので、
0:19:14	(1)も含めてになっちゃうんですけど、
0:19:18	これって、さっきの日、表でいっぱい書いてあるけどみたいな話に繋が るんですが、
0:19:26	ないですよ。
0:19:27	何やってんだっけっていうのがよくわからなくなりまして、

0:19:31	先ほどの議論だと 264 ページ①から④って書いてるけどこれ何みたいなことにもなるんですけど、
0:19:40	類型を整理して代表で説明するっていう基本思想はどこに行っちゃったんですかね。
0:19:48	はい。日本原燃伊勢谷でございますそのつもりで書いてるところは、例示って書いてる時点だな。
0:19:54	265 ページが最大荷重となる搬送物を代表して整理をすると、そのパターンごとにですねやっていると、
0:20:04	何かこのパターンが先ほど本当にこのパターンでいいのかっていうのは整理が必要だと、いうことであとは先ほどの、
0:20:11	今、個別のやつを全部挙げて確かにこれが最大だということの整理も含めて、
0:20:18	全体像をどこでどう示すかというところは先ほどの不良の方の話と同じかと思います。ということ絶対整理していければと思ってました。
0:20:29	コサクですけど、最大荷重になるものが何で代表なんですか。
0:20:55	うーん。
0:20:56	何かって言うと、最大荷重のやつって結構ゆとりを持ってさらに大きな定格荷重にしてるのが結構見受けられてですね。
0:21:06	それよりもキツキツのものがあるような気がするんですよ。
0:21:09	1 度が大きければ大きいほどそのモーターもしっかりとしたものが使えそうですかと思うので、
0:21:15	アノな 2 が代表なのかってのがさっぱりわからなくて、この 4 分類の意味がそれとの関係でも全くわかんないんですよ。なるほど。
0:21:28	はい。ちょっと全体整理しないといけませんねはい。搬送するものと低角度の関係をどう考えるかということの鍵。
0:21:39	設計が妥当であることの評価をどうしていくかと。
0:21:44	いうのはおっしゃっていて、これ最大のやつの方が、余裕を見込んでいるということはずと。
0:21:50	牧。
0:21:51	余裕がなさそうなものを選んでもう確かにこれでもちゃんと運べますと。
0:21:55	いうこと。
0:21:56	説明すると、
0:21:58	いうことなのかなポイントはという気がしますので全体ちょっと整理をしてからその整理をする中で、何らか分類が要るのか入れないのかということも含めて整理していきたいと思いますはい。
0:22:12	はい、古作です。
0:22:14	この 4 分類であれば意味がないと思うんですよ。

0:22:17	なんですけど、そもそも定格荷重ってなあにっていうのが、説明がないのがよくないかなと思ってまして。
0:22:27	搬送設備、どんななのっていうことに応じて、仕様の決め方って変わってき得るんじゃないのかなと思っててですね、そうすると
0:22:38	ケース、型式ごとに型式っていうんだらう。
0:22:42	ものの種類ごとに、
0:22:45	設定、説明しないといけないんじゃないのっていうこともあり得ると思うんです。
0:22:50	具体的に言うと、
0:22:53	八社でアカセなんだ、伊田功。
0:22:57	水平方向に送るというものと、
0:23:01	クレーンのような上げ下げをするものっていうのは違うんじゃないの。
0:23:09	いうことはないですか。
0:23:19	はい。日本イシダでございます。そうですね。はい。268 ページばっかにある。
0:23:31	表 5 着と、270 ページの一番上にいるローラ神戸なんか同じような的確提示の考え方活動と、普通に考えればね。はい。
0:23:43	はい。
0:23:44	補足です。
0:23:46	ものとしてまず違うはずなんですよ。で、ただ、そのそれぞれの設計において、運ぶ物の物量感で荷重計画荷重というのを設定しますと、その野瀬定格荷重で、
0:24:01	設計できるように安全ファクターは、それに加えてやっていますよっていうことだから、結果としてこの評価は同じ、
0:24:11	違いが出てこないっていうことなのかなと思いましたけど合ってます。
0:24:18	はい、日本イシダでございますが、おっしゃっていただけると思うんですね。はい。
0:24:23	はい。古作です。そうすると、まずは資料 3 の方で物としてはこういうもの、こういうものこういうものがありますよと。
0:24:32	いうことがあってその累計のもとに、こちらに来たときにその定格荷重ってのはそれぞれの種類に応じてこういう設定をしています。
0:24:43	いう説明がまずないと。
0:24:45	繋がってこないんじゃないかな。
0:24:54	はい。輸入者でございますそれが資料 4 の評価の前提になる設計情報ですね。はい。
0:25:02	はい。
0:25:03	待ってそうすると、単純に

0:25:07	にも荷物というか吊具とかも含めてですけど、搬送物というものの重量を見積もればいいですってなって、
0:25:18	搬送物っていうのんのは先ほどのトレーだったり、容器だったりなんだったりと、
0:25:26	いうことも、
0:25:28	ありますというのがこういう種類でっていう中にも含まれてきてて、その総量というのを、見積もりばいいんです、でってなるともう累計っていうのも一つでいいと。
0:25:40	いう感じになってくるんだろうなと。
0:25:44	も、
0:25:46	そうすると、類型一つでいいのかどうかちょっとあれですけど、
0:25:53	まだ分重量を全部タダ足し合わせるだけっていう意味であればあんまり開ける意味もないから、
0:26:01	足し算をするようなものを例示に挙げていきますよと。
0:26:05	いうことで、
0:26:08	言われてもいいのかなと思います。その時にですね、
0:26:12	代表で行ったところで
0:26:16	重量のカウントの仕方、
0:26:20	あまりでな、
0:26:23	パパンがあり得るけど、こういうふうにして足し算するんですとかっていう、
0:26:28	何らか配慮があるものがあればそれを説明してもらおう。具体的にですね、物としてはこういうものです。こういうふうに思いますというようなことを
0:26:38	ちゃんと説明いただくという、
0:26:41	ウノが必要であって単純に表を載せるのが意味があるものじゃないと。
0:26:46	いうのは先ほどもお話しした通りです。
0:26:49	そうしないとですね、代表で説明してくださいって意味がないんですよ。
0:26:55	なんで代表で説明してくれって言うかっていうと、表で示したのでは、把握しきれないものっていうのを図面なり何なりも補足をして、しっかりと説明をして理解をすると。
0:27:07	全部並べるのは、
0:27:10	大変だからそう、そういうものを市で上げてもらえれば、
0:27:14	あとは同じように評価をしてるっていうのが添付だったり、補足を個別に我々見るのでいいですよと。
0:27:22	いうことなので、
0:27:23	ちょっとやっぱり代表で説明するっていう趣旨が、まだちゃんと落とし込まれてないかなというふうに思ってます。

0:27:38	はい、稲毛西田でございます。はい。ちょっと全体整理をさせていただきます資料 3 との関係も含めて整理をしていければと思います。はい。
0:27:48	はい。コサクです。ここまでいいのですが念のためなんですが、クレーンとかの設計をちょっともう、
0:27:57	もう、
0:27:58	過去の勉強になっちゃって、忘れてしまったんですけど、
0:28:02	うん。
0:28:03	釣りの果樹。重量に対して
0:28:10	津つり上げ昇降の速度によって、慣性力が働いて、課長が増えるんですけど、
0:28:19	その部分っていうのは計画書のカウントにはなくて、
0:28:23	定格荷重はあくまで重量から出してくるもので、その慣性力での荷重増え方っていうのはその後の
0:28:35	ワイヤーの設計だとか、
0:28:39	いうところでファクターをかけ、
0:28:42	の方で設計をしてるってことでよかったんですけど。
0:28:49	イデニシタでございます私が過去見てたクレーンの設計はそういう記憶です定格荷重をあくまで運ぶ重量との関係でそれ以外のファクターは、
0:29:02	ワイアタカノ設計での考慮ということで全体は抑えていくということで考えていたと思い
0:29:10	はい、高坂です。わかりました。そういったところ先ほど、そういうのを、だと決めつけて話してしまいましたけど、しっかりと一つ一つ押さえてだからっていうのをちゃんと書いていただければと思います。以上です。
0:29:29	規制庁の藤村です。その他、共通 12 のパターン 2 のところですが、287 ページぐらいまで、
0:29:36	何か規制庁から、
0:29:44	金では半袖ルールについて規制庁側から何かあればお願いします。
0:29:50	はい、規制庁加賀です。後は搬送ゼロイチ側で確認しながら共通中にフィードバックっていうこともあるかと思いますが、とりあえず、
0:30:01	麻生 01 のほうの記載を確認させていただきます。
0:30:05	4 ページ目のところで全体整理して追加いただいた、
0:30:11	という
0:30:12	要求関係ですね。
0:30:14	んところ、まだちょっと
0:30:20	よくわからないというか、記載がちょっと薄かったなっていうところがありまして、2.1. 1 の(1)閉じ込めは
0:30:28	す。

0:30:30	その通りなんですが具体的にこれな。
0:30:33	搬送物がどうなったら閉じ込め機能に影響するかっていうことは、
0:30:40	どうでしょうか。
0:30:58	はい、二本木助教でございます。とじ込み機能に次に影響を及ぼす可能性があると、可能性のある設備について、私も書いたのは、
0:31:08	直接影響があって閉じ込めが喪失するということまで行くことっていう、
0:31:14	設計上、多分なくてですね。
0:31:17	基本可能性っていうのはあくまで粉末容器の中であつたり、ツユキ自体の搬送中の逸脱であつた偽装であつたりということがいわゆる閉じ込めの、
0:31:29	バリューアッド業界に対する影響を及ぼす可能性があるという維持として考えたということでございます。
0:31:36	はい。正当化です。そうだと思いますんでそういう
0:31:42	具体的な
0:31:45	ケースを考えた上で、可能性のある設備、
0:31:50	その可能性のある設備が曖昧。
0:31:53	のところもありまして今おっしゃっていただいたようなところをもう少し、
0:31:57	ちゃんと書いていただきたいっていうのが、いかがなんだよ。
0:32:04	はい、日本イシダでございますはい。まずは、どういう影響が考えられるのかって搬送物の落下等々の関係というのをもうちょっと具体的に明確にするっていうのと、
0:32:18	その可能性のある設備っていうのと、そのあと 26 条の対象として抽出するって言っているものの、具体的な紐付けですね、そのの整理を、
0:32:28	するという事で認識をしました。
0:32:31	はい。お願いします。次(2)臨界なんですけどそのなお書き、先ほど号機で核燃料物はMOX及びも作ったんですっていうふうに、
0:32:43	もう修正されるということでしたが、それ以外の核燃料物質を搬送する設備はっていうのは、
0:32:50	これは、何が想定されているんでしょうか。劣化ウランがあると思うんですが、臨界の発生の恐れがない。
0:32:58	あと何が想定されてると。
0:33:03	長押しございます。劣化ウランは対象ですね後は、
0:33:13	だよな。
0:33:16	じゃあ立候補だけじゃん。
0:33:19	書いてないじゃん。
0:33:22	対象としては劣化ウランだけですか。はい。はい。分析はもう全部、



0:33:29	領域にわたって臨界発生の恐れはわからない水位なっているんですよ。
0:33:41	ニューメディアでございます単一委員長の中での対象物の隔離別総量管理というか臨界上の管理っていうのは当然必要な管理要素になっていると思っております。
0:33:54	はい、規制庁課長尾野。
0:33:56	臨界管理が必要な核燃料物質の中に分析って含みませんかっていうのが質問なんです。
0:34:03	結局今のコメントが維新。
0:34:06	考えると、
0:34:10	はい、イデシダでございますそうですそこは
0:34:18	私もこれを出して良いなと思っていたのは9ページで言ってケース分け等、前のページで言ってる物の考え方が一対一になってますので、そこそちゃんと整理をして書く必要があるかなと思っております。
0:34:32	今ここで言うグローブボックス内での呉分析市場を、
0:34:38	ナカノの話だったり、
0:34:41	牧層で扱うものをどう考えるかとかいうのも含めて全体ちょっと整理をしないと、
0:34:48	退職物がうまく説明できてないっていうところがあると思ってましたのでその整理の対象だと思っております。
0:34:55	はい、規制庁とか、それであればはいこの辺の四角10とかあと全体を見直し、全体的に整合したそう記載になるようにお願いします。(3)遮へいに関しては、
0:35:07	社会条文の方の基本設計方針等で、第1回の時に、
0:35:14	遠隔自動で
0:35:17	行うような設備に関しては個別の説明のところ
0:35:22	遠隔自動で行う。
0:35:24	ことをもっと求められた設備ですというふうに、
0:35:27	説明しますというふうに説明を受けていて、今回の搬送設備において、遠隔自動で
0:35:36	説明するっていう部分はどこで説明してるんでしょうか。
0:35:50	はい。宮城ニシダでございます。
0:35:54	ちょっと全体整理しますが、再編の時に言った各設備で演歌食う自動です。
0:36:02	運転フルセットで言ってるのはその対象物と、それぞれ確定していきますよと言って説明をしたときの、私が思ってたイメージの対象物は、安全機能を有する施設の条文出てくる。ええ。

0:36:15	どう被覆施設いこかの、各設備の説明の中で展開をしようかなというふうには思っていました。
0:36:24	はい。政調会です。そういう、
0:36:27	説明の中に搬送設備で入ってくるんです。
0:36:31	イマセ搬送設備は共通側に、
0:36:34	はいそうですねはい。
0:36:37	そのリンクか。
0:36:42	言われてるのがそのリンケージがないってことですかね。はい、規制庁、その通りです。ふうん。
0:36:53	堀野下。
0:36:56	こいましたというか、どうでしょうか。
0:37:02	うん。
0:37:07	まずう、ここでこう書いた理由は、遮への条文でやって原理原則にのっとってやるものは、その機能に影響を及ぼすことはありませんという、
0:37:18	全体像を語ってるだけなので、設備とのリンクっていう意味では、その遠隔自動で行う設計であるということについては、例えばですけど、
0:37:34	い。
0:37:35	でもここで16ドイとか、16年17飛ばしたらわけわかんない子、
0:37:42	ちょっと考えます。はい。
0:37:44	はい。ちょっと規制庁、ちょっとそこは、ややこしくなるなと思ってたところでしたので、どこかで説明を受けなきゃいけないとは思ってますのでよろしくお願いします。
0:37:57	そのあとのなお書きも、
0:38:00	これも結局はどの設備で恒設が求められてるっていうこととか、どういう被ばく管理をするかっていうことも説明が必要だと思ってるんですが、
0:38:10	そういったことももうどこかで説明すると思うんですがどこで説明するのかっていうところでお願いします。
0:38:37	はい、乳井瀬谷でございますそっち。これも逆に雄踏、井川の遮へいを出す今回の説明グループ。
0:38:50	4か。
0:38:51	説明の対象を主に紐付けていかないといけないですね。はい。
0:38:58	はい。正当化、1マツノお願いします。あと、崩壊熱状況に関しては、換気でやるから、
0:39:09	大丈夫ですっていうふうにそれはそうなんですけど、
0:39:15	換気設備を実施することで、
0:39:21	まず、その説明してるのが岩内層の落下と換気設備の関係みたいなことになってるんですが、

0:39:27	輸送物の崩壊熱を除去するための、アオキ設備の扱ってというのがまず、
0:39:35	大前提としてあると思っていて、
0:39:37	まずそういう説明をしていただきたいんですがよろしいですか。
0:40:04	イメージセインでございますはい。
0:40:08	うん。
0:40:11	そうですね確認ベースの移動時も含めた、崩壊熱力との関係ですかね、ということ整理をして記載するようにしますはい。
0:40:20	はい。成長がですね、まずはそれでいいとして、結局粉体を扱っている、二川でオープンな状態で本体を運んでいると聞いて、もう、
0:40:30	換気風量との関係って、
0:40:35	女川内とか悪影響防止みたいなのは各駅みたいなものがあると思うんですがその悪影響防止みたいなものって、今回の説明内容に入ってるんでしょうか。
0:40:57	ヤギイシダでございます。
0:41:02	えーっとですね、協会のときに同じような議論をした記憶があって、蓋開けた状態で取り扱ってるものっていうのが、ブロック全体に舞い上がって、
0:41:13	下のところに悪さをしたり、ネット関係流れっていったり他のグローブボックスに飛び散ったりということがないよねっていうことを、何であった。
0:41:25	それを、今言われてるのは、全体として何らか搬送物の考慮として書く必要があるんじゃないかということですね。はい。その通りですねおそらく許可の時には他のってホッパーから落ちるところとか、
0:41:41	チャン北川で交換機能するとか何か舞わないような工夫をしますみたいなのは見た。
0:41:47	ですけど、アノウタの搬送状態もありますか。
0:41:52	そういうところを整理してくださいというところがありました。ちょっと議論が、何を話したのかがよくわかんなくなってきたので、
0:42:05	ちょっと入口を、ちょっと自分の頭の整理をさせていただきたいということなんですけど。
0:42:10	ここ資料4の話をしてきましたけど、この補足って資料4ではなくて、
0:42:17	資料3だったり前の段階みたいな話まで整理をしている資料なので、評価に入る前の話を延々と今してるっていう理解でいいですかね。
0:42:32	日本原燃石田でございます。はい。まずそうですねこれは前回進め方に出した表で同じ番号の補足が資料3、構造と評価と跨っているもの。
0:42:43	書いたものが気がしますはい。
0:42:46	はい。コサクです。その上今の話だと、どちらかというと、構造として

0:42:59	まず配慮することが多分にあって
0:43:03	分単位で扱う場合はどのような状況にしておくのかそのための構造になっているのかと。
0:43:10	ということがまずあり、かつ、それぞれで粉体が巻き上がらないように或いは巻き上がったものが拡散し、散乱しないようにと。
0:43:22	いう配慮ができてるかっていう話になっていくんだと思うんですけど。
0:43:27	そ、その辺りわあ、
0:43:34	どこで道具整理しているのか、してくのかな、もう書類に書く話なのかどうかっていうなこともよくわからなくてですね、今話をしていた2ポツ1ポツ1っていうのは、
0:43:49	技術基準規則第16条で言っているところの、
0:43:58	等、
0:44:00	安全に保持ということ。
0:44:03	に
0:44:07	含めて考えるべきものは何ですかっていうことを抽出しているということ。
0:44:15	なのかなあと思いつつ、何やってるんだらうってのがちょっとよくわからなくなったので質問なんですけど。
0:44:21	一方で第1号の方のも、搬送する能力っていう時に、
0:44:25	は、
0:44:28	安全っていう関係のもの。
0:44:30	この関係は言う必要があるのかないかとかですね、それ、どういう趣旨でこの種、
0:44:35	2ポツ1ポツ1例を書いているのかっていうのを改めて教えていただけますか。
0:44:46	はい。日本原燃石田でございますまずこの2ポツ1ポツ1ですねこれ前回のヒアリングでのやりとりで、
0:44:54	16条の対象とする搬送物は5設備っていうのを、どういう観点で、
0:45:01	選ぶのかというところが前回もうまく説明できてなかったところを、
0:45:07	もう一つ安全機能との関係で、要求事項としては16条は搬送設備に対して、
0:45:15	必要な容量を確保するというのを、電源喪失時でも、保持できるような設計をする、その中での、
0:45:24	落下防止等の措置も含めた全体の要求をかけているので、そういった要求との関係を含めて、そういったラッカーだったり逸走だったりという自主状況が起こったときに、

0:45:39	安全機能の関係でその影響、機能に影響を及ぼすような、搬送設備であれば、16条の搬送設備として、適合を説明をする対象。
0:45:53	とすべきではないのかという整理をしたかったのが2.1.1の文章の説明したかった趣旨になります。
0:46:02	それで言うと、
0:46:05	第2号の方の
0:46:10	安全に保持というと機能安全って何っていうことであれば、この整理は意味があると思ってるんですけど。
0:46:20	第1号の部分も限定したいんだってということだとすると、
0:46:26	外れるものってなに、
0:46:28	それって本当に説明しなくていいのっていうことをお話しなきゃいけないかなと思うんですけど。
0:46:38	そういうスクリーニングかけてます。
0:46:45	規制庁からちょっとフォローよろしいでしょうか。
0:46:48	どうぞ。許可では、各性物質の輸送という項目で、移動するものなんかの許可事項を整理するんですが、
0:46:59	技術基準になると、核燃料物質を搬送する設備括弧1、安全に矢印支障を及ぼさない恐れが、
0:47:06	何とか、そういうそのちょっと限定する表現が出てくるんですね1号にこの前、
0:47:12	なので、
0:47:14	ここで搬送設備として扱うものを、まず全体像の中から、整理した上で、それらに対して、2個を考えましょうっていう、
0:47:24	その前段部分を整理して、
0:47:26	もらったというところでした。で、ちょっと私は、先ほどの確認で、ここに記載すべきじゃない言葉でちょっと確認したので、若干ノイズになったという印象もありました。以上です。
0:47:41	コサクですオオクボさんありがとうございます。
0:47:44	その点ではちゃんと論点を分けて記載項目を整理をすべきだと、いうことがまずあって、大岡から話のあった後半部分の、
0:47:54	細かなというか、より具体的話っていうのはまた別の場所でちゃんと枠を設けて書くべきだというふうに思います。大川の言ったですね第2号じゃなくて主文の方の、
0:48:11	人の安全に著しい支障を及ぼす恐れがないものと、
0:48:17	いう。
0:48:19	ことをどう話をしていくのかっていうことであればそういうふうにちゃんと書いていかなきゃいけないと思うんですけど、現状側溝があんまり、

0:48:29	補足説明資料の文章では現れてないのはなぜですか。
0:48:42	はい。人間のイシダでございます。
0:48:46	いいです。まず、
0:48:47	うたっていたように整理をしようとして考え方を書きますと、もともと当初やりたかったことを、若干身内の圧力感があって今 2. 1 日、日程意見 2 と書きながら、
0:49:03	最後に、整理結果という 2.2 が、通して 8 ページ出てくるんですけどここで、
0:49:10	いきなり始めて、人の影響、に安全に著しい影響、支障要素がないものとしてみたいな日本語出てくるので、これ担当の頭の目的から一貫してその目的をどう考えていてそれを達成するためにどう整理をして、
0:49:26	結論等の紐づけをすると、いうことをさせていただくように、もう一度整理をさせていただきたいと思います。
0:49:35	はい、わかりました。
0:49:38	そうしたときにですね、これまた先ほどの
0:49:48	容器が搬送物側になってってというようなことにも繋がるんですけど、
0:49:55	先ほどの遮へいだったり一崩壊熱除去だったりというときに、
0:50:02	容器で担保を止めてますみたいな、
0:50:05	ことは、
0:50:07	ドーン、
0:50:09	これで
0:50:11	担保を取る形になるんですかね。
0:50:13	どこでっていうのは
0:50:16	設工認上の
0:50:18	であったり、
0:50:22	設工認上のものとして本文としての扱ってということと、添付書類でのどこでの説明でっていうことと、幾つかあるんですけど、
0:50:32	どう考えてます。
0:50:46	古作です。ずつ全面ためですけど容器ってどういう扱いなんでしたっけ。
0:50:54	はい。二本木ニシダでございます。現在容器自体はいろんなタイプの容器があるので、それぞれ
0:51:05	今回でいくと共通の紙資料 1 ですかね、に
0:51:12	項目を挙げているもの。
0:51:14	等がありますが、それも結局は、事故目だったり委員会だったり要求をかけてるものを対象に、容器としてのエントリーをして整理をしています。

0:51:28	そこにとり1人は当然臨界の評価モデルの先方だったり、前提になったりさとしての要求がかかったりと。
0:51:39	ということで、その設計上の担保事項はそれぞれ、臨界遮へいといったところで登場させて説明が必要だと、いうふうには思ってます。
0:51:50	ただ全体の容器っていうのに対してどういう要求がかかってるかっていうのを、
0:51:55	何か見えるような資料があるかと言われると、
0:51:58	企業票でも見えないよね。ちょっと先方わかんない。
0:52:04	射程タイプ寸法って書いてるんだっけ種。
0:52:08	そういったものが整理をしてそのどの条文の要求として、どこで説明がなされるのかと、いうのはちょっと一旦整理した方がいいかもしれないですね。はい。
0:52:20	はい、田崎ですよろしくお願いします。
0:52:23	臨界はサトウ委員会の云々というのが多分仕様表にある。
0:52:29	だろうなと思うんですけどチェックさせていただいて遮へいの方も、
0:52:34	実用炉であれば生体遮へいとかっていう、遮へい材料と厚さっていうのを書くことになってて、
0:52:43	使用済み燃料輸送容器なんかも、それで書いてあったと思いますので、
0:52:49	何らか示していただいて遮へい機能を期待してますというようなことにはなるんじゃないかなと思ってちょっとチェックお願いします。その上で、
0:53:01	容器で担保をとっているっていうことの担保に影響を与え得るものであれば、この搬送設備でも対象になるという、
0:53:12	ことになるのかなあとと思うんですけど与え得るっていうのが、
0:53:19	落下により影響を与え得るもので落下防止というのを図るものが対象にしますっていうことになってるっていう理解というか、
0:53:30	これ日本技術屋でございますそういう整理をしようとしてました。はい。
0:53:36	はい。
0:53:37	そうです。わかりました。ちょっとその意味だと
0:53:44	この場所だとわかりにくいなっていう感じはあって、
0:53:51	遮へいのところのなお書きっていうのは、
0:53:57	んな。
0:53:58	の場合っていうのがどんなものを言っているのかっていうことになるのかなと思うんですけど。
0:54:06	店頭なり何なり、
0:54:08	うん。

0:54:10	して落ちる場合でも、落ちるとか何か衝撃がかかる場合でも、そんなに高くは現在、
0:54:18	時には果樹。そんな変形してないん大丈夫ですかってそういうことなんですよ。
0:54:35	すいませんちょっと
0:54:38	わかるようにしていただいて、そもそもここ対象とするかしないかの、
0:54:45	伴檀基準を、
0:54:49	定めようとしてるんですよ。
0:54:52	はい、そうですねはい。
0:54:54	はい。
0:54:56	(1)のとじ込みはそんな雰囲気を書いてるんですけど(3)になるともう
0:55:01	形になってないので何を言ってるのかわからないって感じになってますから、今みたいところで影響を与えるかどうかということのお考えとしてどの範囲までを対象にするつもりなのかということをお知らせできるようにして、
0:55:18	河合宮城瀬谷でございます承知いたしました。
0:55:22	で、
0:55:24	(4)の崩壊熱除去になると先ほどからも言ってたと思うんですけど、搬送に置いて、その容器なり何なりで
0:55:34	崩壊熱除去というのを担保してますよといったときに、搬送で影響あり得るかないかという。
0:55:41	そういったことをちゃんと書く必要があって、
0:55:49	換気で担保してますと、
0:55:51	もうその条件にはヤブキとかがあたりするわけで、容器、
0:55:58	の
0:56:00	崩壊熱除去の条件を満足するように、搬送できてなければ、問題が生じるってことだと思うんですけどそこが、問題は起きません。
0:56:11	で言い切れるのは何ですか。
0:56:17	それともそんなことまで言い切っているつもりはなくて、
0:56:21	なのかっていう、それがよくわからなくてですね以上によりだと外れるんで、
0:56:27	何だろうなと思ってんですけど。
0:56:39	良いですのでございます。ちょっとここは、もうちょっとブレークして、何を書きたいかを整理していきます。実際は容器等の落下によって、
0:56:53	崩壊熱除去に期待してるっていうのが、何があるかっていうのを考えてその担保として期待するものが、



0:57:04	影響するようなことがないってことを多分言いたかったんだろうな と思いつつも、それが何がその要求してることなのかっていうのを書 かずに、端的に単純に書いたっていうところが、何を言いたいかよくわ からなくなってるんだと。
0:57:18	思いますのでちょっと現在整理をして記載を見直していきたいと思いま す。
0:57:24	はい。お願いします。
0:57:26	気にし、
0:57:30	ちゃんと整理をしていただければ大丈夫だと思うんですけど、搬送、
0:57:36	ワーキ本容器 1 体ずつっていうことがあって、
0:57:42	搬送のエリアっていうのは貯蔵のエリアよりも、循環器が、
0:57:50	しやすい状態になってて、
0:57:55	問題ない状態ですよっていうのが前提にある
0:57:59	ということかなと思う。
0:58:01	ていてですね、それをどう担保するのってことになると、ここで除外する のではなくてそういう配慮をしますっていう説明が必要なんじゃないか なという気もするので、
0:58:11	そこら辺しっかりと整理をお願いします。
0:58:18	はい、乳井ニシダでございます承知いたしました。
0:58:22	大岡さん、お返します。はい。清北岡です。いろいろと補足ありがと うございました。そこら辺はしっかり整理いただいて、
0:58:32	あと対象設備側 2.1. 2 のオカとの
0:58:37	整合っていうところも、
0:58:39	話を通じるように、全体を構成を見て、
0:58:44	9 ページ目のフローに、
0:58:46	いければなと思ってましたのでよろしくお願いします。8 ページ目の、
0:58:53	ここで、搬送設備の整理結果 2.2 として、こう出てくるんですが、
0:59:00	思っちゃ観光、
0:59:03	説明が薄いところは先ほどの貯留の説明の拡充と一緒にここでも、
0:59:10	それに応じた説明をしっかりともらわなきゃいけないと思っているん ですが、
0:59:16	例えば、3 段落名、
0:59:21	の分析のことが書いてあって、
0:59:24	少量の、
0:59:26	ものを、小さな資料便等で移動するものであり、
0:59:33	何も影響およぼしませんよみたいな説明があるんですが、
0:59:38	後の方に、

0:59:41	34 ページ目ですかね。
0:59:44	ちょっと先走って申し訳ないですが、
0:59:48	この辺で少し分析の説明がされてるんですが、運ぶときは、
0:59:53	資料便を幾つかの、
0:59:56	入れた箱をに蓋をして、
1:00:00	容器を蓋をして、グローブボックス内を移動するような、
1:00:05	ことが説明されていて、
1:00:07	何か資料便が、
1:00:09	に入れて、ここから説明。
1:00:13	的には、少量だから大丈夫ですみたいな説明になってるんですが、
1:00:17	この関係ってどういうことなんでしょう。
1:00:26	8 ページ目の記載の方が、治療便等で、
1:00:30	小、移動するから少量だから、
1:00:33	大丈夫ですになっているっていうそちらですねどちらかという。
1:00:54	これ、日本ニシダでございますはい。
1:00:58	結局、
1:01:02	先ほどの安全指導の関係をどう整理するかってところとうまく紐づけていければなと思います
1:01:10	宴会場は結局は、ある家単位で臨界管理をしているので、それを逸脱しない限りは、搬送、
1:01:19	のものによる影響ってのはないと。
1:01:23	いうことでしょうし、
1:01:27	グローブボックスから取り出して、人が運ぶようなものであれば、実際、グローブボックスの閉じ込めとの影響は運べないではないでしょうし、ということ。ただ後はグローブボックスの中を移動する人たち、
1:01:39	いわゆる 9 ページで言う、真ん中辺に分析試料と書いてグレーハッチングしたですね、これが先ほど岡さん言われた 30 何ページかで書いているもので、
1:01:51	34 ページか。
1:01:55	これがこの状態でグローブボックスなんかを移動しますよってということで、これが実際、本当にいい。
1:02:04	影響がないのかっていうところをどうを整理したのかっていうのをもうちょっと具体的に言わないと、少量との関係だけでは、整理できませんねってことです。
1:02:15	はい。規制庁からその通りです。だから前は、全体を見直す時にまず前半のその要求を見直すとしてで、

1:02:24	この 2.2 の整理結果がそれにひもづけてしっかりそれぞれ説明いただくというのが一番強い、
1:02:31	オーソドックスなやり方だと思いますので、そのように説明展開していただくということがまずあると思います。
1:02:38	で、ずっと少量だから大丈夫っていう説明を受けて、しかないので分析に関しては、
1:02:44	この
1:02:45	少量の程度感を説明する上でも、やっぱり臨界とか閉じ込めとか、その要求との関係というのが大事になってくると思いますので、そういうところを丁寧に説明していただきますと、
1:02:58	前にヤギイシダでございます承知いたしました。
1:03:04	はい。規制庁岡です。
1:03:07	あと、
1:03:11	9 ページ目のフローはこれは退職ツール。
1:03:15	ナカの抽出はもう、
1:03:18	ちょっと母数となるロッカーの放射性物の移動なんかを、
1:03:27	出だしにしている、
1:03:30	ということなんですよね。
1:03:33	はい。その通りです。
1:03:35	はい。成長から、それを分解アノじゃん。累計というか分解して行って、それぞれどこで説明しますが、最後に整理結果として、
1:03:45	まとめられているということです。
1:03:49	はい。藤でございます。
1:03:51	はい。
1:03:52	成長課です。で、
1:03:55	あ、ごめんなさい、古作です。
1:03:58	今の話
1:04:00	一応確認なんですけど、これはあくまで搬送物に対して書いてあるからってということで液体のところには分析済み液と液体廃棄物しかないんですけど、
1:04:12	分析液ワーグローボックスなりの取り合いフードなり取り扱う中でしかなくて、
1:04:21	固体で入れてきて溶かして分析をして、出す時にはもう積み液だったり廃棄物だったりになってるからこういう、
1:04:30	記載になってるっていう理解でいいですか。はい。その通りです。
1:04:35	その意味だと
1:04:38	全体の

1:04:40	核燃料物質のに放射性物質の流れのフローがあった中で、移動のあるものを抜き出したということです。
1:04:49	はい。日本原燃石田でございます。そういう事プラスですね、これもいいのかどうかというのはいちよと整理をしますけど、49 ページ以降については学年制ベースの放射性ベースって書いてある。
1:05:04	またそれを核燃料物で書き換えるからまたわけわかんない。
1:05:08	49 ページ以降のこの放射性物質の移動のところで書いてあるものをピックアップして整理をしているだけなので、これは全体の中でどういう考え方でこれをピックアップしたのかというのがわかるような記載をしていければと思います。はい。
1:05:24	はい。よろしくお願ひします。それで今言われた通り、各デンヨーブースって言いながら、そうじゃなあさそうなものもあつたりしてちよと気持ちが悪いところがあるので、そういうふうに含めて整理いただければと思います。
1:05:38	はい、承知いたしました。
1:05:41	正常化です。ちよと今のままか。
1:05:45	絡めてなんですが、液体の分析済み液位を運用要求にしてるんですが、こういうのがちよちよこあるんですが、こういうのって、
1:05:54	核燃料物質の脱落防止対策を講じることを保安規定に定めて管理というふうになってるんですが、
1:06:00	具体的に、台車への設計配慮ではなくて、もう、
1:06:06	この時に、
1:06:07	何らかの対策を講ずるっていう、その運用側での配慮っていうのは具体的にどんなもんなんです。
1:06:32	これ、日本技師長でございます運ぶときの
1:06:39	でも、
1:06:40	何でもかんでもいいわけじゃないんだよね。
1:06:45	運ぶ数とか制限とか、野瀬、
1:06:56	そうずっと脱落防止対策だけじゃ説明ないんだよね。
1:07:10	ウエダ井清の容器な。
1:07:14	ただもう、
1:07:15	やらないんだろ。
1:07:18	菌田井清つたって普通にホームセンターでっていう代表的なもんじゃない。
1:07:23	それを加工してる。

1:07:33	普通の会社と変わらないんだったら別に特別な配慮があるのかどうか終わってたところで、本規定に定めて管理するのは何かっていうのをちゃんと明確に定めるって、
1:07:43	書いておかないと、脱落防止対策だけじゃ何がしたいんですかがわからん。
1:07:48	ことなんじゃないかなと。
1:07:51	大川さんの指摘は、
1:07:58	羽生西尾でございますちょっと具体があんまり出てこないのもうちょっと整理をして、ここに具体的に何を、
1:08:06	定めて管理するのかということを明確にしたいと思います。はい、規制庁課です途中でちょっと話もあった量とか、そういったものの方がむしろ大事なんだろうと思うので、そういうところをしっかりと、
1:08:21	確認していただき、一定ここに記載していただければと思いますのでよろしくお願いします。
1:08:27	パツとごめんなさい。ちょっと補足です。今の話で、ここで書くのはいいとして、
1:08:35	共通 12 ではどうしますっていうことでいうとまず資料 3 かなと思う。
1:08:42	なんですけど、いいですかね。
1:08:46	はい。二本木瀬谷でございますそうですね先ほどのちょっと整理をしますかね。先ほど搬送物として対象をどうするか資料 3 がでの整理なので、
1:08:58	設計上の配慮するもの等、運用要求での考慮しないといけないものってのを、
1:09:07	要求事項として明確にして資料 3 側で明らかにしていくということで整理ができればと思います。
1:09:17	はい。お願いします。
1:09:20	それにちょっとし、その関係での資料 3 って 1 つの話になってましたっけ。
1:09:58	いやいや、資料 3、L12 グループさん。はい。ちょっと待って。
1:10:07	行きはりの系統で取り扱うものの設計項目として、
1:10:14	運用要求のフラグを立ててやる。
1:10:17	じゃないと出てこないよね。
1:10:21	それとも、
1:10:23	十四条でやる。
1:10:27	はい。はい。
1:10:30	上の配管はダテ 14.
1:10:34	K。

1:10:36	系統説明するのはどこ。
1:10:41	14、10、14、10、14 条で、十条出てくるのは、グループ監査でございます。取り扱う系統、
1:10:54	イトウ説明グループさんで出てくるので、その中での設計の説明の内容として運用要求も含めて展開をしていければと思います。
1:11:07	古作です。そうだとする等、
1:11:11	その説明がないナカ版創設B。
1:11:15	の説明でこの対象物がこれですよ。
1:11:21	で、
1:11:22	メモならず、でも要領の説明だけをしますっていうのは、どう流れればいいんですかね、どこで線引きます。
1:11:54	河合ヤギニシダでございます。ちょっとそれ以外のところも、他の条文にでもできるのか、20、
1:12:04	23 条。
1:12:12	はい、そうですね登場してないものを前提に話をするっていうのは、できない、許可である程度書いてない別ですけど、そうでもなければ、
1:12:22	限定もできないことで、ちょっと整理をさせてください。
1:12:28	はい。お願いします。それと、なんで、搬送設備今回、
1:12:34	対象にし、今回グループ 1 での対象にしたんですしたっけ。
1:12:40	乳井井清でございますこういうものを相手にしないということを前提に、
1:12:45	密にしてたので、是除外するところの考え方まで最初、もともと出したやつでうまく整理をしないで決め打ちでしたから、それを前提にしました。はい。なので、最初の、
1:12:57	ロジックがロジックじゃないところで、それが崩れたとともに説明グループの見解も、
1:13:02	変えないといけなかったのかもしれませんが。はい。
1:13:05	高坂です。わかりました。ちょっと区切れるんであれば区切って説明していただいてもいいですし、それが難しいということでグループさんにされてもいいような気もするので、
1:13:15	整理をしてください。以上です。
1:13:20	はい、日本イシダでございます。ちょっと整理をしますはい。
1:13:26	はい。規制庁大賀です。整理するというので、あと、ちょっとこの、
1:13:33	9 ページ目のフローの中で、MOX母体MOX非密封線源グループボックス内MOX粉末ペレットといったところの加工及び移動の、
1:13:44	手作業による移動を含むっていう、この手作業っていうのはどんなことが想定されてるんでしょうか。
1:14:14	地味な作業ってことだね。

1:14:17	ペレット、これ。
1:14:21	今この作業何かを、
1:14:23	もう他の資料でも対象物って、そっち回転だから取り入れ変えて、
1:14:31	日本イセでございますコウノて改良ちょっとペレットの移動とかだと、いうことなんですけど、何を対象にしているか明確にします。
1:14:38	はい。正当化です。あのさ、昨日、議論の関連して、ここはグループ3なんですか。何か今回の説明範囲がグループブロック内の、
1:14:49	その設備だからってというような、
1:14:53	イメージを持っていたんですが、ここも数、グループ3で整理されますかっていうところなんです。
1:15:23	日本インダでございますそうですねMOXがつくれと、ナカガワの作業だったんだ、グループ第三課が入ってきちゃうので、そこの整理、
1:15:33	ただ全体の整理の仕方は第3回も含めて多分やらないといけないと思うので、全体の整理の中でイレギュラーがまた第3回で出てくるっていうのがまた、
1:15:43	説明としては、ある面倒くさいなという気もするので、全体整理はその中で、もう一度できればと思います。はい。はい。次回とか、あとグループ間とか、そういったところも含め、どこで説明しますっていうところは、お願いしまして、
1:16:01	何か資料3にフィードバックすることをさ、ケルよりはフィット資料3でも説明し切っちゃって後で一緒にその方がこちらの確認としてもやりやすいっていうのもちょっとあるので、
1:16:14	その辺も踏まえて、先に出せるものは出していただいていたいただく。
1:16:19	はい。乳井西田でございますが先ほど小沢さんからも言っていたいたやられるんであればということで
1:16:27	分ける方法も含めて考えて、グループ1で、
1:16:33	説明してるものを、別にグループ3にいきなり変えるということじゃなくて、説明できる範囲をちゃんと整理をして、と思ってました。はい。
1:16:41	光岡ですよろしく申し上げます。
1:16:43	じゃ、あとこのフロー。
1:16:45	までの関係が確かないんです。
1:16:49	ただ、次、3ポツのほうに移らせていただきまして、3ポツから具体的な落下防止対策等が、それぞれ説明されていて、
1:17:00	ですね、このロジ。
1:17:03	区として搬送設備の動作とその対策の繋がりがりっていうところが、
1:17:10	若干説明されてないと思ってるんですが、
1:17:13	といったところでそういうところを説明してると思う。

1:17:17	てますでしょうか。
1:17:23	つまり 11 ページ目の表の中で搬送設備の動作っていうのでは自動さ、昇降動作水や輸送動作があって、
1:17:32	その落下防止対策等の方でAからE班まであるんですが、ここの関係、
1:17:38	何でそれだったらいいかってところっていうのはどこで説明されてますかっていうことです。
1:18:17	それが資料 3 に図があったから説明できたんでしょ。
1:18:21	図ないじゃん。
1:18:26	動くは、方向とか動き方とか、設備の構造がわかれば、
1:18:31	上でいいって説明できるんだけど、この表だけ見せられてもいいかどうかわからんよ。
1:18:40	コサクですね。知名関連してるような気もするので
1:18:45	いくと。
1:18:47	落下防止って、一番
1:18:52	ポイントにしてるやつですけど、A、
1:18:55	児童佐田形ですか。
1:18:59	うん。これも 2 小講堂さんというエリアで落下されたら困るんで、
1:19:03	そうなんですよ。よく二重ワイヤーにしてるとかっていうのは、昇降動作での話ですよ。それが何か抜けてるような気がするんですけど。
1:19:21	ちょっと整理をもう 1 回します多分、書いてくれたチームは、はずれをするっていうのは多分、上下に物を動かすときに、
1:19:32	付随するアクションとしては自動去っていったるので、数イコール右の昇降動作を込みで書いてるよね。
1:19:42	でもその右に表昇降動作だけいると。
1:19:46	もう訳わからんだと。
1:19:48	いうことだよね。
1:19:49	なので全体、ここで出す登場人物をちょっと整理して、古作です。はい。整理していただいて、それで言うと次の 12 ページに行くとスタック乾燥設備の乾燥報道供給装置のところは、
1:20:08	昇降動作のところにもっていうふうがついたりするんですけど、
1:20:12	斎木はついてるけど、取り扱い機はついてなくて、
1:20:20	中身のの記載を見ると同じでとかってあるので、なんていうことがやっぱりわからないのでそこは先ほど相田さんの言われた構造の違いとかってのがあるのかもしれないんですけど、
1:20:30	やはりその辺でもうちょっとうまくしてもらおうということ
1:20:35	はい承知いたしました。



1:20:39	規制庁がですね。そうだと思いますので、T途中でもちょっとそちらで議論があった資料3で構造とか見せてないからわかりづらいじゃんっていうのもその通りだと思っていて、
1:20:52	資料3の構造とのまず紐付けっていうのがあるのかなと。で、資料3のここで説明されてるものに分類されます様がもう少しこちらで具体的になっていると。
1:21:04	類型とか、ちゃんと網羅性とかそういったものも確認できますので、
1:21:10	そういう整理も配慮もあるのかなと思った次第ですがいかがですか。
1:21:15	はい。人間ニシダでございますはい。おっしゃっていただいている通りだと思うので、紐づけとして、整理をしていきます。
1:21:23	実際は多分、もともとここにあったものを資料さん側の本体に持って行って、丸々消したんだよね。
1:21:30	消したら元で紐づけしないとね。
1:21:33	消して終わりじゃないわけ。
1:21:35	はい。承知いたしました。
1:21:37	はい。規制庁角ですよろしく申し上げます。ちょっとそこは、また再整理されたところで、しっかり確認するとしましてこの表が結構、
1:21:48	長く続いていて、33ページ目から4ポツが始まるんですが4ポツで、対象外とする核燃料物質の、
1:21:58	についてということで、今回分析と劣化ウランは対象外なんですね、こういうふうに。
1:22:04	扱ってますっていう説明があるんですが、
1:22:07	ちょっと分析がは先ほど三田34、34ページでですね、がちょっと曖昧でわかんなくてですね。
1:22:15	これは、当会社で、
1:22:18	運ぶんだけど、この大事だっていうのは人が運ぶんですよ。
1:22:38	内野地域。
1:22:40	でもこれグローブボックスなんだよね。
1:22:47	今おっしゃっていただいた通りグローブボックスの中を台車で人が運ぶっていう説明になっていることに、アノをとかっていうところがあっ
1:22:57	て、
1:22:57	ちょっとご説明いただけますか。
1:22:59	ちょっと確認をして整理しますはい。
1:23:06	ちょっとオカがやってる間にちょっと確認します急いで、
1:23:10	はい、規制庁かです。で、
1:23:15	あと関連してなんですが運ぶときの形態が表、図の方に書いてあって、

1:23:25	ビーカー主要便等に入れ蓋をした状態で容器を用いてグローボックスなりを移動と、ここは、
1:23:34	ビーカーとか飼料瓶に蓋をした上で、さらにこの容器にも蓋をしてるように見えるんですがまずそういう理解でよろしいですね。
1:23:44	はい。大丈夫です。
1:23:45	はい。
1:23:46	で、
1:23:50	遮へいとかは、
1:23:52	ちょっと今の先ほどのブロック内容っていうところも関係するんですが、
1:23:56	それ遮へいへの配慮。
1:23:58	被ばくへの配慮というのはどうなってるかっていうところも関連してお願いします。
1:24:20	メディアでございますグローボックス中ですのでグローボックスの境界との関係で、遮へいの担保をとってるとは思いますけど具体は確認して、説明できるようにします。
1:24:33	はい。規制庁岡です。どうぞ。
1:24:35	そのグローボックス内を大事な運ぶっていうのは、今日はちょっと難しそうです。
1:25:16	ちょっと情報は、よくわかんなくなりましたので私がちゃんと責任を持って説明するんであれば後日にさせていただきます。はい。全体的にここ、まず、図がわかりづらいついていうのと分がもう、あんまり説明されてなくて先ほどの、
1:25:33	遮へいとか被ばくへの配慮とか、そういったところもあわせて、ちょっと説明いただければと思いますのでまた再整理した結果で確認させていただきます。
1:25:47	次、35 ページ目 4 ポツに劣化裏側なんですけど、ここはいろいろ説明があるなという印象でして、そもそも放射性、
1:26:00	放射能が弱いっていうのがあるんですが、ちょっと確認なんですけど、
1:26:05	37 ページ目の(3)で、
1:26:10	原料欄粉末を収納袋に入れた状態でホッパーに入れてるように、
1:26:15	空いてるんですが、
1:26:17	収納袋を切るタイミングってないんですか。
1:26:40	弓削ニシダでございます。でもその終わったよね。
1:26:47	ちょっとね、
1:26:49	来てたよね。
1:26:51	具体的にはこの今止まってる青いボックスですねこの中に、採用をするスペースがあって、そこに人が入れて、

1:27:03	黒木って、下に物を落とすというところになってます。はい、わかりました。ちょっとこれだと岡井招きそうなので、島袋なんて入ったら、やっぱりしっかり不純物なので、そこら辺は、
1:27:15	わかるようにお願いします。関連してなんですが、
1:27:19	六つ上がって、
1:27:21	収納袋入ってるんですか。
1:27:25	オクソウノオガワないですね。粉末缶に直接入ったものが、今後 3 ヶ月増益に三つ入って、
1:27:35	固めていきます。はい、規制庁からわかりました。じゃあ、収納袋を切るっていうプロセスがここでしかないくて、それはオープンポートボックスでやられる人がっていうこと。はい。
1:27:48	はい、規制庁です。わかりました。
1:27:54	いえ、
1:27:56	劣化ウラン関係だと、
1:28:02	39 ページ目に、どういう配慮をしているか、落下防止を一通りやっけて、
1:28:11	粉末だけということでしたが年劣化ウラン燃料棒も、
1:28:19	別館、ウラン燃料棒として受け入れるっていうふうに、
1:28:23	言っておりましたがそこら辺の扱って、今回説明なかったんですがどうなりました。
1:28:34	燃料棒は濃縮ウランしかないって。
1:28:39	うんマツダだから、
1:28:41	結果やって、燃料棒が濃縮なんだっけ。
1:28:46	前で見てもわかるんだっけ。
1:28:53	だから 9 ページで行くウランって書いて燃料棒、これだけです。はい。
1:29:02	規制庁かちょっとわかりました。だから、レット欄で燃料棒がなくて燃料棒アノ式ウランだから搬送設備の対象になっていて、はい。はい。ここで説明されているということですね。はい。
1:29:19	を、
1:29:20	労力や頭数、
1:29:26	最後にまとめてもらった 39 ページ目以降がやっぱりちょっとこの表は見づらくてですね、初めの方に成形施設があって 0 成形施設で、
1:29:36	結構順不同な扱うものが、こうずらっと並んで全部工事会ですとなっていて、説明受けてないものが多いんですが、そのあと被覆施設から、
1:29:48	順番に今回説明受けていったようなものが少しずつ変えてはいるんですが、

1:29:54	ここって別に次回でも書いていいような気はするんですがやっぱり、そこはもうしっかり線引きして、次回で示すってということですか。
1:30:19	人間のイシハラでございますまず、ちゃんこの補足説明資料全体でどの範囲を変えていくかの整理をして、対象をどうするかは、整理させていただければと思います。
1:30:32	その中で、全体の考え方は、第2第3で評価としての今、資料4上も成型施設のところは工事海田とって、整理としての対象としても、
1:30:45	込めるって確か飛ばしているんで、そこの関係も含めてどうこの個別補足で数字を出していくかというところとの整合を図れればと思いました。
1:30:55	はい。成長別わかりました。
1:30:57	で、
1:31:00	ちょっといろいろ略称が多くてですね、わからなかったんですが42ページ目成型施設の
1:31:06	JBってこれ何を示してるかっていうのが、ちょっとどの資料でもわからなかったんです。
1:31:14	もう次回なのですね、ちょっと先出てすみません。
1:31:33	人間でした。令和だって逃げるノジリ調整なんかじゃあ、また面倒くさいだお前。
1:31:43	言えば、ボール番号近傍の、
1:31:54	はい。
1:31:57	ネイビーが何かようわかりませんが、ない内容というか要領に書かれているのは、上の5キンボールですね。
1:32:06	ボールで使う。はい。なので。はい、わかりました。はい。
1:32:12	はい。
1:32:14	役者じゃなくてもいいかなと思うんシライです。はい。
1:32:18	理解しました。
1:32:19	この資料、いろいろと
1:32:22	修正して欲しいところは多かったのでまた再整理結果で議論することにはなると思うんですが、オカ規制庁側から、
1:32:30	何かありますでしょうか。
1:32:39	と共通12の搬送設備の設定根拠丸一井のところも含め、
1:32:46	成長がわから何かありますでしょうか。
1:32:51	浅香です。
1:32:53	この件ということでもないんですけど、先ほど言った補足説明資料の位置付けってあるので、

1:33:01	資料 3 と 4 と分けるということではなくてもいいような話はずっとしてはいたんですけど。
1:33:10	大枠としてその位置付けは 1 ポツの概要で書くということになってたと思って、ただそれは添付書類との紐づけってということなので、
1:33:21	補足説明だ等の搬送設備に関する説明書っていうことで明確になっている形にはなってるんですけど、
1:33:31	資料 3 資料 4 との紐づけみたいなことの関係。
1:33:37	津久井君ないよねイシハラでございます先ほど、
1:33:43	閉じ込め 0 ニイツ、
1:33:44	ちょっとお話を。
1:33:47	させていただきましたが取り込めるようにも 2 ポツと 3 ポツで資料 3 と資料 4 の関係とそれぞれ入ってるんですけど、それぞれの 2 ポツの 2 ポツを説明するときに、資料 3 の関係であること。
1:34:00	資料 3 で説明しているどういうことの根拠を、そのあと説明したいのかと、いうことを、2 ポツなり、リード文にちゃんとそれぞれ書くということかなと思います。
1:34:13	そういった整理を、補足説明資料の作り方として整理をして、共通化していければと思ってました。
1:34:22	はい。古作です。わかりましたよろしくお願ひします。ちなみに、イマダと閉じ込めも閉じ込め機能に関する説明書だけなんですけど、設定根拠説明書との紐づけっていうのは長くて大丈夫なんでしたっけ。
1:34:41	当然仕様表も入ってくるんで、仕様表が絡めば設定怖いね。
1:34:47	あれヤマダさんと 1 種類越して、
1:34:50	これはいるんじゃない。
1:34:54	でき、
1:34:58	はい。
1:35:00	今後作成する際に気をつけて対応いただければと思いますけど、資料 4、パターンのカッコ 2 の場合には、設定根拠っていうことが多分に出てくるんで、その
1:35:12	入れるのであれば、3 項追求してということで対応いただければと思います。はい日本イシダでございます承知いたしましたそうですねおっしゃってたように歩通閉じ込めるにもう、
1:35:24	搬送の方も、2 ポツだけだったら資料 3 とか、地元の添付書類との関係だけで終わるかもしれないですけど、それぞれサンポつーとか後ろの方が、資料 4 との関係になってくると、結局、

1:35:38	関係する添付書類って他にもいいよねっていうことだと思うので全体を見て、必要なものを添付書類として上げるということで整理していきます。
1:35:53	規制庁からです他、もし何かありますでしょうか。ないようでしたら評価パターン3の労働力評価を、288ページ目からの、
1:36:03	説明をいただければと思います。
1:36:07	今現在よろしくお願ひします。
1:36:13	はい。日本原燃の伊藤です。
1:36:15	では続きまして資料の評価パターン3、共同応力評価について説明したいと思います。
1:36:23	こちらの方修正箇所を中心に説明いたしますけれども、まず、大きく修正した場所で、293ページになりますけれども、
1:36:35	こちらの方で、評価部位の基本的な考え方ですね、それを追加して、次のページに、5ページになりますけれども、代表の選定の考え方、そういったものを追加しております。
1:36:50	評価部位の考え方については、本部周表記載項目について、それらの部材を対策、対象として選定すること、あと機能維持の要求ある設備については、
1:37:02	それに必要な部位を選定して評価を行うと。
1:37:05	ただ一つ、
1:37:07	あと、②番として、当該部位の当該説明安全機能に関連して、補助的な役割を担う部材、
1:37:16	それとアノ数の分布から、当該設備の荷重を受ける部隊を対象とするといったことで整理しております。
1:37:24	こちらの整理は質点系モデルもFEMモデルも同じ
1:37:29	まして、
1:37:30	ストック線形モデルのところだと本体が、①に該当して、①として、基礎ボルトリステイングが該当するとしております。
1:37:43	続きまして5ページになりますけれども、こちらで自然系モデルの代表の考え方を記載しております。
1:37:53	質点系モデルで、数評価するものですが、剛な設備でありまして、JR4601に基づきボルトの評価を
1:38:03	ボルト対象評価としております。ちょっとルールをここ悪いんでここで1杯対象とするというふうに来たいと思います。
1:38:11	それで、Sクラス、かつ、動的デッキの維持の考え方。
1:38:16	についても説明できるグローブボックス排風機を代表にご説明したいと考えてございます。

1:38:24	それで前のページに書いてましたように、5、質点系モデルでやるものとして、容器が該当するものがありまして、それについては、こういった脚部の評価を行うといった、
1:38:37	連携モデルの差分として、次回になるんですけども、そこで説明してというふうに、
1:38:45	おります。はい。
1:38:47	続きまして6ページで今度FEMモデル、2名についてですけれども、こちらについても評価部位の考え方についてはどういうふうに考えてございます。
1:39:00	続きまして7ページ、296ページですけれども、こちらの方については、有限要素モデルで解析する機器の代表としては、耐震設計プロセスの項目のうち、
1:39:14	一番多くの項目を含む設定ですねちょっと既設工認から変更とか、再処理の考え方も、
1:39:22	書いててちょっと記載を修正いたしますけれども、耐震設計プロセスで一番多くの項目を含むのも、
1:39:29	ものを代表として選定したいと考えております。
1:39:33	その上で、そういった観点でグローブボックスが抽出されまして、
1:39:41	と、すいません。
1:39:46	第一次設計プロセスの項目が多いものと、あと、変位変形の制限で伸縮継ぎ手の説明があること、あと内装機器の影響を考慮した連成モデルをしてると。
1:39:58	ここからグローブボックスを代表にしたいというふうに考えてございます。はい。
1:40:03	こちらの方については、第3回以降の設備に渡しても、作動がないかなということで、今回の予防規程を説明した。
1:40:13	すいませんちょっと申し訳ございません。
1:40:16	2回の申請の中で、差分として臨界に係る変位の評価がありますので、それはラックピッターナーということで説明したいと思います。はい。申し訳ございません。
1:40:30	8ページ以降は
1:40:33	設計プロセスに基づく、
1:40:36	設計条件の考え方ということで記載しております。こちらのところで一番下で、グローブボックスの支持構造物についても、形状から部材名を設定すると書いて、
1:40:48	おりまして、考え方としては同じようにやるということなんですけども、これ以降、ちょっと強い構造物の話、全然出てこなくて、

1:40:59	単体と同じようにモデル化、解析を力強化するため、説明の処理を、これ以降の説明については反対で代表するといったことをちょっと、
1:41:10	追加していきたいと思います。
1:41:15	あと次は、文言等の修正が中心になりまして、316 ページに飛びますけれども、
1:41:26	こちらの影響評価の記載、これまでしておりましたけども、(4)(5)で、(3)のタイトル同じものを書いてたので、
1:41:36	こちらは適切に修正してございます。
1:41:41	本部は以上で続きまして添付の方に説明を行いたいと思います。添付の1として、連携モデルを用いて評価を行う設備の評価例ということで記載しております。
1:41:53	319 ページで評価部位、さっき本部で示しました考え方で、評価部位を選定しまして、
1:42:03	構成部位部材耐震計算書の記載名称、あと評価対象選定理由ということで、
1:42:13	このように整理をしてございます。
1:42:18	それ、すいません。こちらの319 ページで構造強度とA5 セキー1 電気イノウエ時が、評価対象と、
1:42:28	選定されておりますので、それについて、次ページ以降で、詳細を説明してございます。
1:42:36	321 ページですけれども、排風機の寸法重量の考え方ということで、こちら以前、記載しておりましたけれども、
1:42:48	17 円、パパ総ぞ選定してるとか、ボルトの評価の長さというふうに変定してという考え。
1:42:55	あれしております。
1:42:58	しばらく、構造強度評価につきましては、記載をもう少し詳細にしたということと、
1:43:10	ちょっと全体的に見やすくさせていただいた後、
1:43:16	ごちゃごちゃ耐震設計プロセスに沿った記載になってなかったのも、その辺りについては、見やすいように今般申請いたしました。
1:43:27	4、329 ページが、機能維持の中で、動的のイソベベップニイズの話でして、こちらについても、
1:43:37	記載を少し見直しております。で、動的機能維持のところ、1.2ZPAを使うのかZPAを使うのかという話がありましたけれども、
1:43:49	こちら事業部に基いて、で、1.0ZPAを使ってきたことを記載しております。こちらロー側でも同様にやってるということは、確認、
1:44:02	明日、



1:44:04	続きまして添付 2 ですけれども、有限要素モデル等を用いて、評価を行う説明をされているということで、グローボックスの評価について設定しております。
1:44:19	グローボックスの、評価対象として選定される場所ですけれども、334 ページ 335 ページの方にまとめておりまして、
1:44:29	こちらの方で構造強度の間、あと閉じ込め機能維持の観点で評価をやるということで、定義してございます。
1:44:41	337 ページ以降で、耐震設計プロセスグループ、
1:44:48	条件ごとに、
1:44:51	記載を見直しております。
1:44:56	そこで 342 ページなんですけれども、重量については、考え方だけ以前は変えて、
1:45:04	ですけれども、こちら実際重量は幾らであるとかどういったふうに出してるとか、そういったところについて、わかるように記載を見直しております。
1:45:16	342 ページにつきましては、梁部材に、 $\pi$ 流すあたりで、する場合でして、343、344 ページにつきましては、
1:45:28	質量として、接点として、別添後シェルの要素の中に付加する場合、そういったものを記載してございます。
1:45:39	345 ページから 3 ページにかけて、内装機器についてのモデル
1:45:48	してるかっていうのをここで記載させていただいております。
1:45:54	すいません、もう少しナイトウオオキありまして、349 ページで、内装機器の容器の重量ですね、それについて、
1:46:06	どのようにオカしてるといったことの記載をいたしております。
1:46:12	続きまして 350 ページですけれども、こういう周期の記載、こちらの方の見直しでございます。前回ですと、こういう周期だけ開いておりまして、どういった、
1:46:26	モードが発生してるのかわからないといったことございましたので、刺激係数を記載してあって、あとモード図、351 ページ以降に記載しておりますけれども、
1:46:38	そちらのモード図を見た上で、区別相当部材についてもお伝えするようにいたしました。
1:46:50	続きまして 354 ページ以降ですけれども、こちら方は設計地震力、減衰定数、機械的荷重等、
1:47:02	これも解析プロセスについて記載の方、直しております。
1:47:08	それで 356 ページ以降が、最終的な応力の算出結果の解説になりました、

1:47:18	具体的なところは 357 ページから播磨、田井始まります。
1:47:24	こちら前回ですと、軸力まで立ち上って、ちょっとどういったふうに計算してるっていう記載をしてたんですけども、
1:47:35	ちょっと 0、そこまでする必要はないんじゃないかと思ひまして、最終結果出る際に用いている計算式ですね、
1:47:46	357 ページですと、
1:47:49	ジコホウ抗力 $\Sigma SX$ とか軸方向、周方向力、SIとか、そういったところについて、解析プログラムで、どのようにされて、
1:48:00	最終的な結果になっているかという形で今回お示しさせていただきました。
1:48:05	こちらについて、358、359360 と、こちらは反対の部材について記載してございます。
1:48:16	続きまして 360、61 ページ 11 以降ですけども、こちらの基礎ボルトの評価の考え方です。
1:48:25	これが 363 ページまで、今っす。
1:48:29	で、364365 ページでグローブボックス、本体と、
1:48:36	内装機器について、最終的な評価結果、それと許容限界比較して問題ないということを確認したということで、
1:48:46	最終結果を記載しております。
1:48:51	続きまして 366 と 6 が 68 で、容器の元についても、岡井、ちょっと追加しないといけないというふうに考えて、
1:49:01	その考え方について記載しております。
1:49:06	元に関わる生じる加速度を基に、は自分の
1:49:12	時に必要な不在ですね、こちらについての評価を行うという形です。
1:49:17	しております。
1:49:20	はい。
1:49:21	続きまして構造強度評価の中で、閉経変形の制限ということで、こちら伸縮継ぎ手の評価方法について記載してございます。
1:49:34	370 ページに書いておりますけれども、ちょっと真ん中、二つ目のポツの後段に書いてますけども、隣接する二つのグローブボックスのベローズの取り付け位置の相対変位から求められる。
1:49:48	檜山あたりの変位量ですね。それとベローズの設計上許容される一山あたりと、営業です。それを比較することによって健全性を評価すると。
1:49:59	それで、
1:50:01	評価しております。なお評価にあたっては江島という伸縮継ぎ手の精度差、当社基準についても行ってございます。
1:50:12	そちらの説明が 374 ページまで続きます。

1:50:20	で、こちらで評価した結果ですけども、許容される変位量が■。すいませんちょっと申し訳ございません。これマスクしておるところですけども、それに対して、
1:50:31	北山あたりの変位量は小さいということの確認でございます。
1:50:39	続いて、375 ページからは閉じ込めの維持の話でして、376 ページで、
1:50:49	機能確認済加速度のお話です。こちらについて、
1:50:53	耐震確証試験やってるんだけど、その数字がどの部位の
1:51:01	結果ということの記載をしております、続いて 377 ページで解析で出てきた最大の応答加速度。
1:51:12	数字ですね、その 1、
1:51:15	示してあって、ダイオード加速度は、の確認済み加速度以下であるということ野瀬でございます。
1:51:26	あと業務ということで影響評価について、水平 2 方向、あと、
1:51:34	隣接建屋の営業課へ行っておりますので、トヨシマイチノセ気がしてですね、それについて行ってますので、その結果についてしております。
1:51:46	あと評価関係ということで、配管系の標準支持間隔についても、押せ、今回資料追加しております。
1:51:56	こちらについては基本設計方針等にも書いておりますけれども、はい。
1:52:03	この記載している評価プロセスに基づいて、iPadの評価標準支持間隔を求めるといった、
1:52:13	パンフ
1:52:14	ごめんなさい。
1:52:15	すいません。
1:52:18	386 ページ以降で、標準感覚の対応をしております。
1:52:27	で、こちらDですけども、ボックスと、もっと、今回グループ 1 出してるところで、グローブボックス内配管についても、
1:52:38	対象となりますけれども、対象となりますので、そちらについても、記載をしております。はい。
1:52:50	それで 398 ページ。一方、評価例といったことで記載しております。
1:53:00	で、
1:53:02	404 ページ以降で、配管設置の仕様ですねアイザワ設計条件、こちらの方の訴えしておりますけれども、
1:53:13	こちらに記載してるハイパーさんですけども、グループしてババアノ第 2 回の申請、
1:53:20	2 関わるものではなくて、後だけではなくて、ここ全体、古木さんで使うものとかも、ちょっとまとめて評価してるということをちょっと付け加えております。

1:53:32	で、その結果をこれ一方でまとめております。
1:53:38	そして 411 ページからですが、機能維持評価ということで、
1:53:45	落富井地区、檀家の話をちょっとしてるんですけども、こちらをちょっともういっぺんに説明してしまおうかということで、
1:53:56	今回お伝えしたんですけども、ダンパについてはこのグループ 1 で説明してる項目じゃなくてないので、構造等が弱の構造とか、なかなかその辺の説明の図、
1:54:07	と思いますので、これは今回の資料から外しておって、説明していきたいというふうに考えております。
1:54:16	はい。説明以上になります。
1:54:20	6 名と、
1:54:23	すいません、あと、補足説明資料の説明がちょっと抜けておりましたのでちょっとここでさせていただきたいと思います。
1:54:31	資料の本文の頭の方でも書いております。いえ、評価部位の基本的な考え方とか、
1:54:39	代表設備の選定の考え方、こちらについては、この資料だけでは、ちょっとわかりにくいところありますので、関係する建物 01、
1:54:51	耐震基準 07 ですね、こちらについては、来週、次にちょっと提出したいというふうに考えております。
1:55:00	今回、ちょっと 1 処理と MOX 一緒にということも考えたんですけども、
1:55:07	当ボックス単独でこちらの方については、提出したいと、いうふうに考えております。
1:55:15	このほか機能維持関係、動的機能、電気的機能、閉じ込め機能についても、きちんとご説明して
1:55:25	カナイと考えておりますので、
1:55:28	この耐震タケノ 017007 について、順次していきたいというふうに考え
1:55:35	はい。説明以上になります。
1:55:41	はい。規制庁鏡ですけども。
1:55:45	どうでしょうか、目次ですけど続けますか。
1:56:01	右下でございますおっしゃっていただいて、時間も時間ですが、
1:56:10	五つ目設定ショウガンイデ。
1:56:15	でもコメントをもらうにしても、会話をしないといけないから、時間はかかりますよ。
1:56:21	一方通行は絶対無理なんで、
1:56:23	こんなもん。
1:56:27	ちょっと別のニイツ形設定できるかどうか事務局とうちの方で調整をさせていただくことでもいいですか。

1:56:36	多分この紙ですけど、はい。
1:56:40	細かい話は来週またできるようにしていつつ、
1:56:45	明日の進め方の2時間かかるのか、カッチしてて、
1:56:51	はい。この後でもってという感じ。わかりました。はい。
1:56:55	それでも構いません。はい。
1:56:59	はい。一応説明を受けたんで、代表性の話とかも一応考えてみたいな。聞けたんです。明日、簡単に大枠やっちゃえばなと思います。はい。
1:57:12	町側でもそういう形で構いませんか。
1:57:16	はい。規制庁浜崎です。大丈夫だと思います。
1:57:20	はい。規制庁五味特に異論なければではちょっと質、
1:57:24	確認はちょっとまた明日の進め方ヒアリング後でということ、
1:57:29	お願いします。すいませんヤマベサカイすごいか、
1:57:35	お願いします。県庁ヤマグチです。それじゃスズキ明日、結構で、ちょっと
1:57:43	教授にほかですね、進め方はそれで構わないんですけど、大枠だけちょっと確認なんですけど、今の代表性の説明って、
1:57:58	最初にあった資料4(1)のところは束ねる方向だけで、代表は具体的にこちら側の資料になってからにしますよという、
1:58:10	ことになっててかつ、
1:58:13	その資料の最初に説明するわけじゃなくて、
1:58:19	評価のプロセスを踏んでいったところ
1:58:23	主に評価部位とか表、
1:58:27	その2段目3段目ぐらいになったところで、話を展開していきますよっていうこと。
1:58:34	だったんですけど。
1:58:35	それは他のパターン。
1:58:39	(1)学校にも含めて、大枠そうそういう方向性でやっていくという認識を全体として取ってるってことでいいですか。
1:58:49	ミナミシダでございますまずこれも出しておいて恐縮ですけど今、耐震のパートで代表性の話を書いている場所が、
1:58:59	非常によくないと思っていて個人的にはですね、いきなり解析モデルの設定まで来て、選定までって書いてますけど、ここで書いてある趣旨っていうのは、
1:59:12	その前の、292ページの耐震計算、設計プロセス全体を見渡した上での代表をどうするかと。
1:59:22	いう話をしているの、ここも資料4-(2)までこないと説明できないかという、これを4の(2)のこのフローを見見渡した上での話を、

1:59:33	念頭に、4の(1)でも、有限要素と、
1:59:38	設定とかモデルによつてタイプ別みたいなのは、認識した上で、分類額を持ってきてるはずなのでそういうところで代表の話をするとかですねもしくは、
1:59:49	この大変設計の増設の、うん。
1:59:52	292の後7日前なのかこの辺の全体の枠組みを語るところで代表の話をするか、ちょっとやり方をちょっと整理をしなきゃいかんなどと思ってたところでした。
2:00:05	6コサクですわかりました
2:00:08	そうなんすよね。埋め込まれちゃう等、どこで何話してる、それで十分なんだっけとかっていうのがよくわからないので、292ページでフローが下、プロセスが書かれて、
2:00:21	その中で代表として抜き出す。
2:00:26	必要のある着眼点っていうのが何で、例えば温度圧力みたいなのは別に代表として上がるものじゃなくて代表のあるところでの条件設定を説明すると。
2:00:37	いうことなんでしょうから、どこがポイントなのかってそれがどれと取れていくのかって、枝葉っていうのは例えばこれと言えば、
2:00:47	4歩Ⅱの計算シキイなりのところで枝葉が出てくるのでそれはその枝葉の部分は別のものを、はい。
2:00:58	モデルの設定とかで代表で選定したもので使わないものは使うもので枝葉また別の差分の説明をしますよと。
2:01:07	というようなことの大枠を、このあたりで説明いただいて具体的、それが示されるという形にしてもらう方がいいかなというふうに思いますので、
2:01:19	明日の
2:01:21	質疑応答の中では、そういったところで関係性を説明できるようにしたいだけだと思います。
2:01:34	はい。日本原燃以上です。はい、了解いたしました。
2:01:40	規制庁山口です。そっから期せちゃうから、確認。
2:01:44	教授にしたいことはね。
2:01:48	元がもう特によろしいでしょうか。
2:02:03	規制庁山口です。
2:02:06	はい。大丈夫ですか。はい。ちなみにあの振り返りについてなんですけど、とりあえず今日十分、やってしまう化した。
2:02:14	ですからいかがでしょうか。
2:02:20	すぐにできそうであれば本日中にまとめて今でいただければいいと思いますが、

2:02:29	ええ。
2:02:30	夜のうち私が整理してきますから、結構多いので、全体まとめて振り返りとしてこう変えるポイントを整理しておきます。はい。
2:02:38	はい。規制庁山口です。わかりました。明日でお願いします。当然私の方がよろしければ、
2:02:45	これで本日のヒアリングを終了したいと思います。藤部長が 09 表氏お願いします